



ゴミ捨て場から

始まる奇跡の話



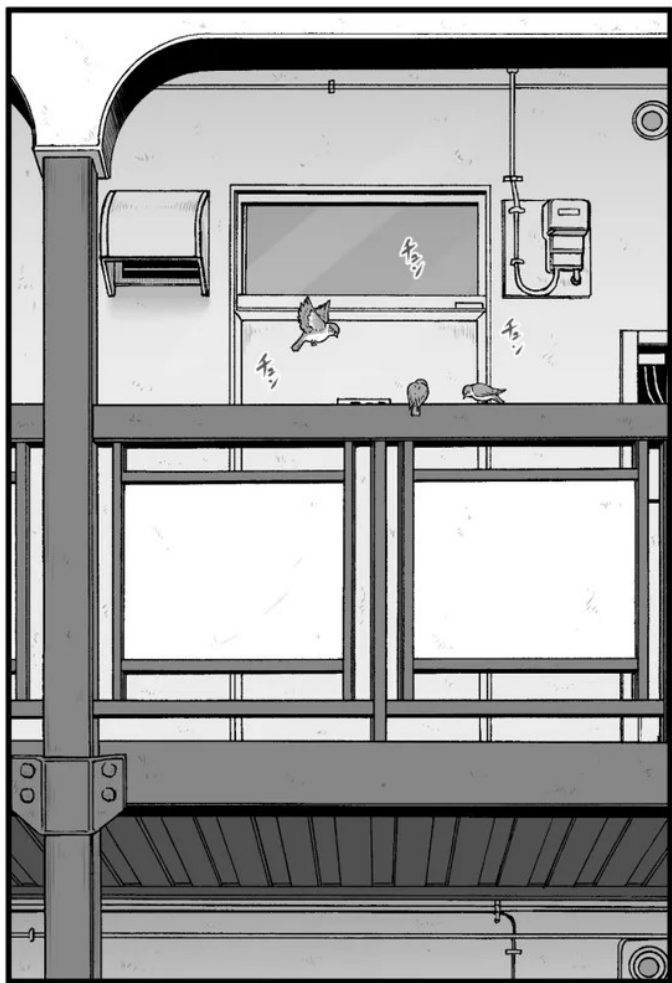
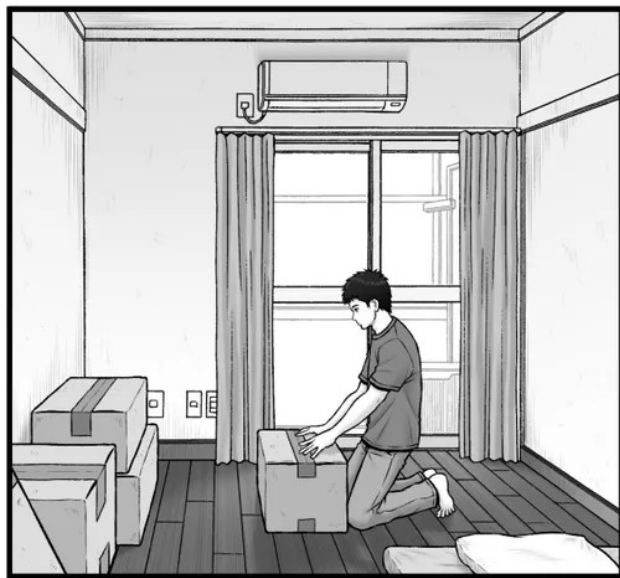
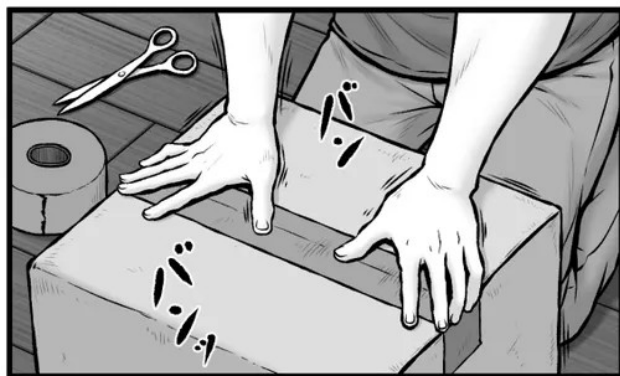
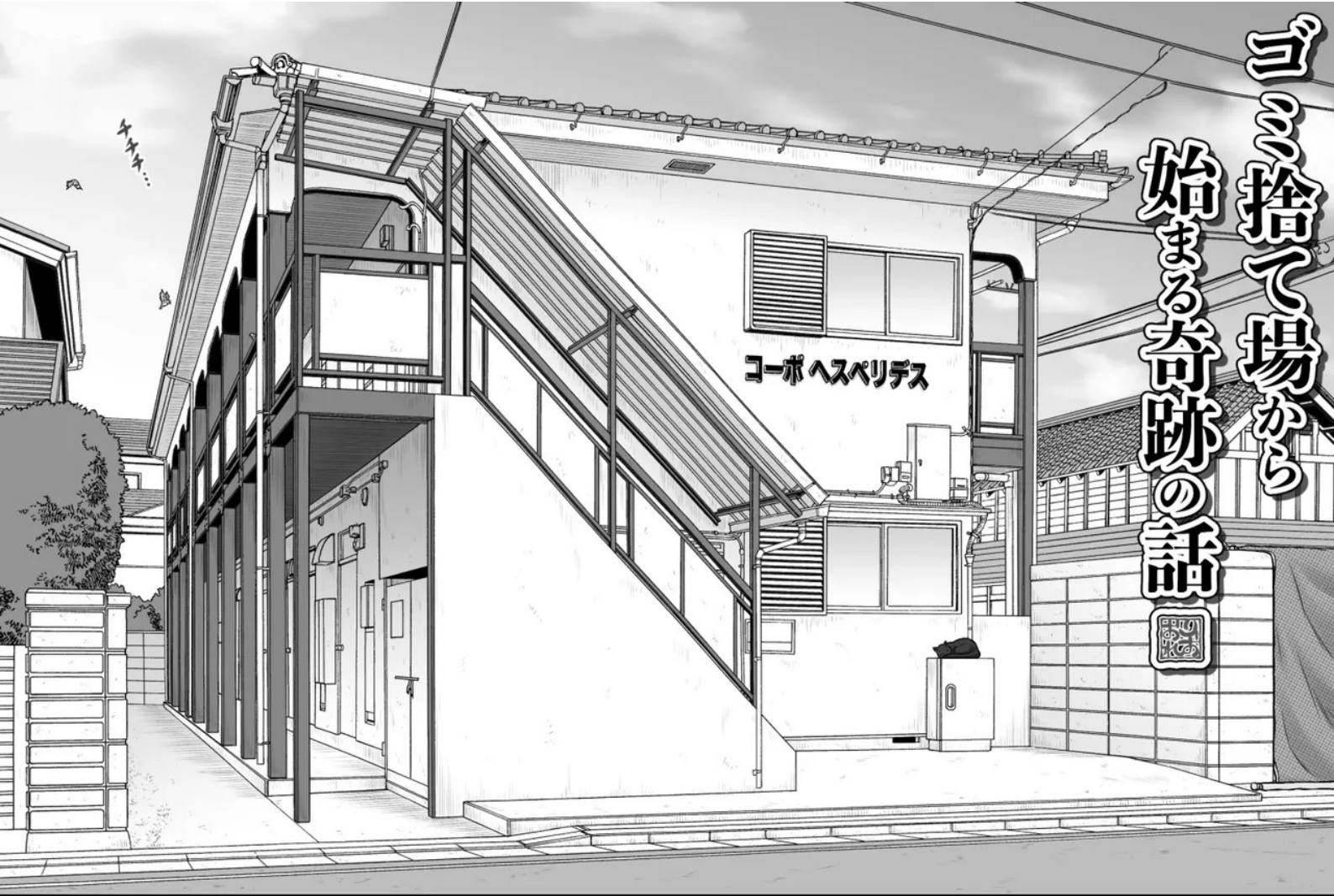
18禁
成人向け
Adult Only

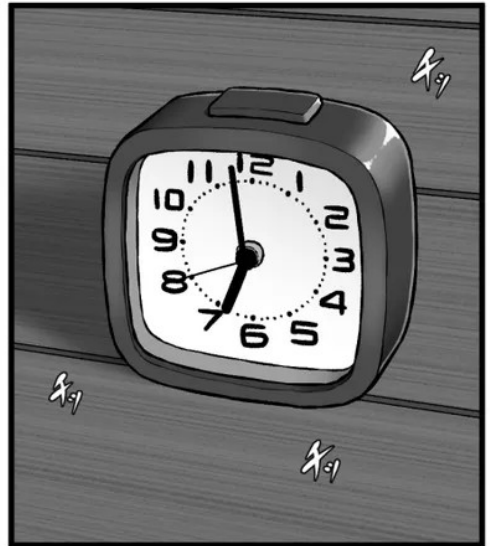
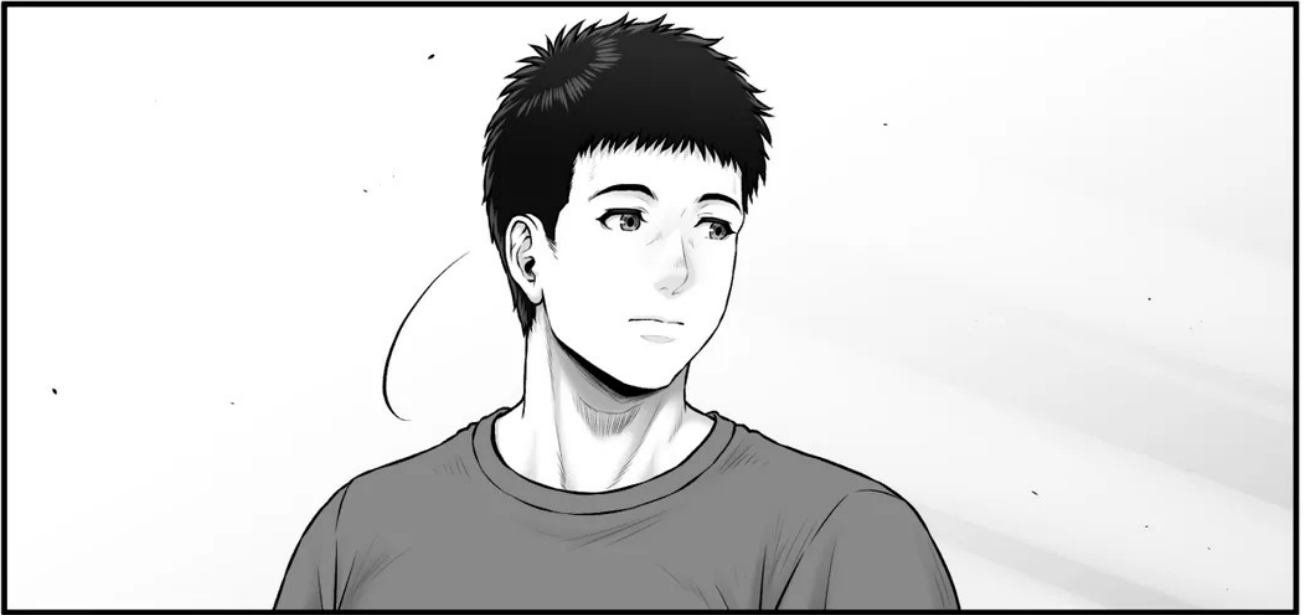
ゴミ捨て場から

始まる奇跡の話



コーポヘスベリデス





当たり前と言えば
当たり前だ

今の時代 自分の素性を
得体の知れない隣人に
ペラペラ話す人なんて
少ないだろう

俺だっ…て…そ…う…だ…



ただ…唯一知っているのは
早朝ゴミ捨て場でたまたま挨拶を
交わす時に彼女が見せる
儂げで美しい表情と優しい声…

!

おはよう
ございます

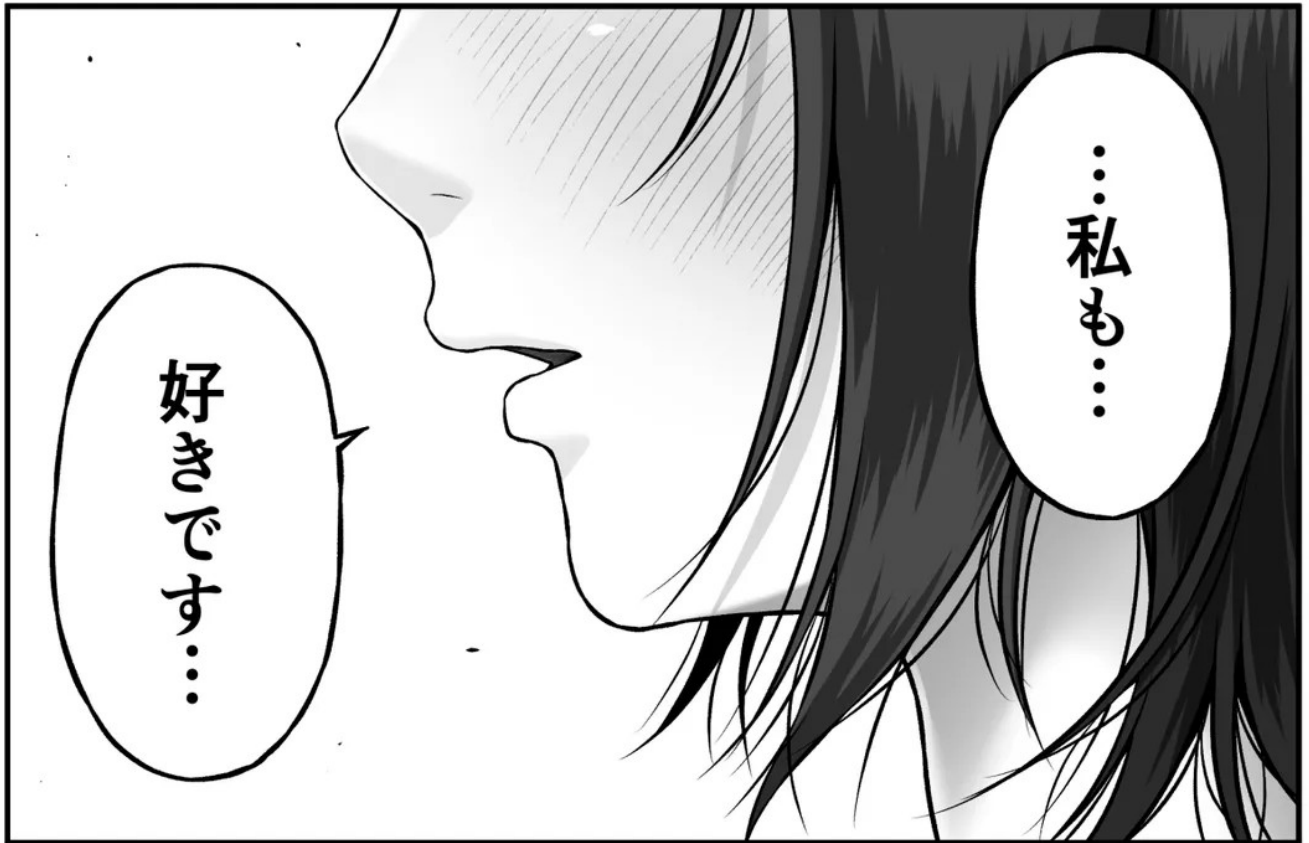
彼女に会えた朝は
この上なく幸せな
気持ちになる

おはよう
ございます

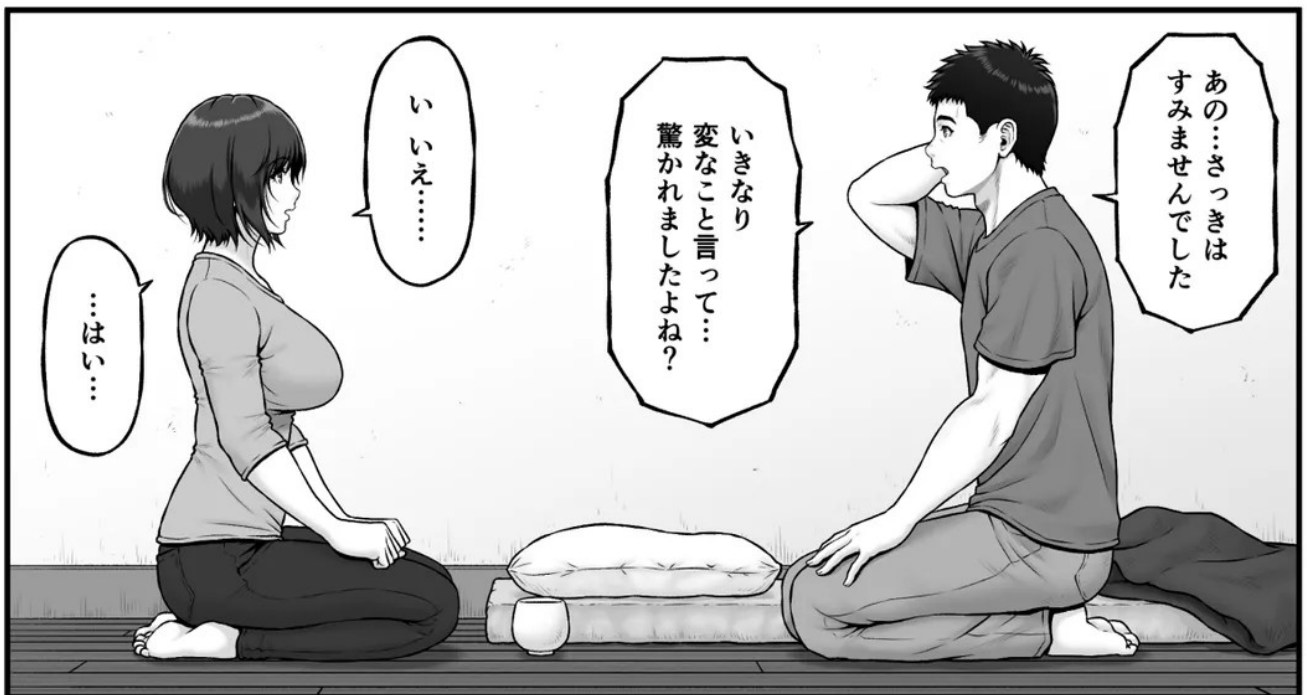
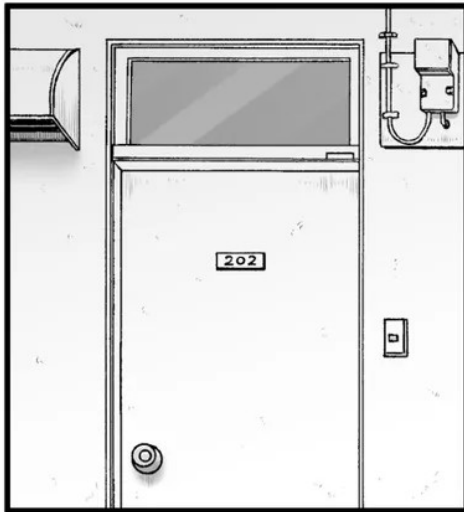
そう…
これは間違いなく
一目惚れというやつだ















あの…
お隣さんは
なぜ私のことを…？



すみません！
私も名前…美和です
下村 美和



あ…俺
拓っていいいます
広森 拓

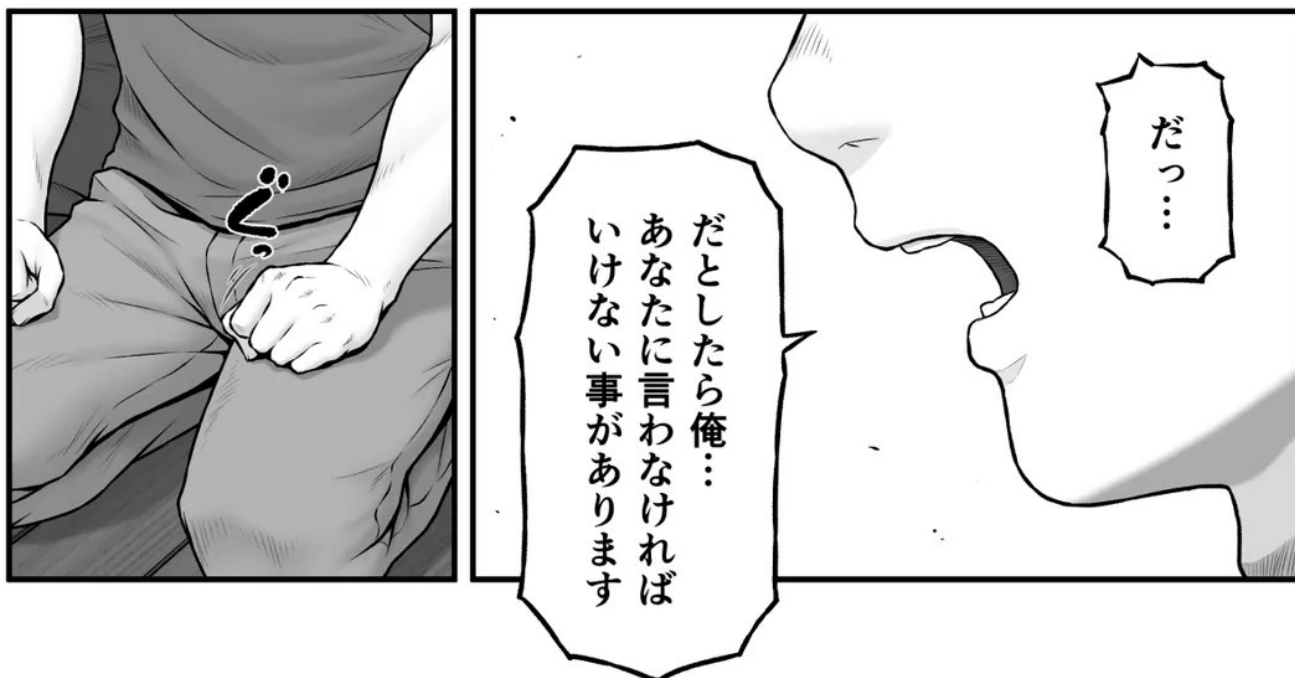


美和さんですか
いい名前ですね

さっきの話ですけど…
たぶん俺も同じ理由
かも知れません

一目惚れだったのは
確かなんですがその…
何となく空気が
似ているというか…

……





俺：7年前に
付き合っていた女性が
いたんですけど：

俺が成人向けの漫画を
描いていたのがバレて：
それが原因で：別れました



え...



ポコポコに
言われましたよ

「漫画も浮気と一緒にだ」とか
「それならあんたが絵を
描いてる間 私は他の男と
遊んでくる」とか…

まあ理解して
もらえないのは
仕方ないかなとも
思います

成人向け同人作家なんて
世間に堂々と言いづらい
職業ですし…

いやですよね
やっぱり…

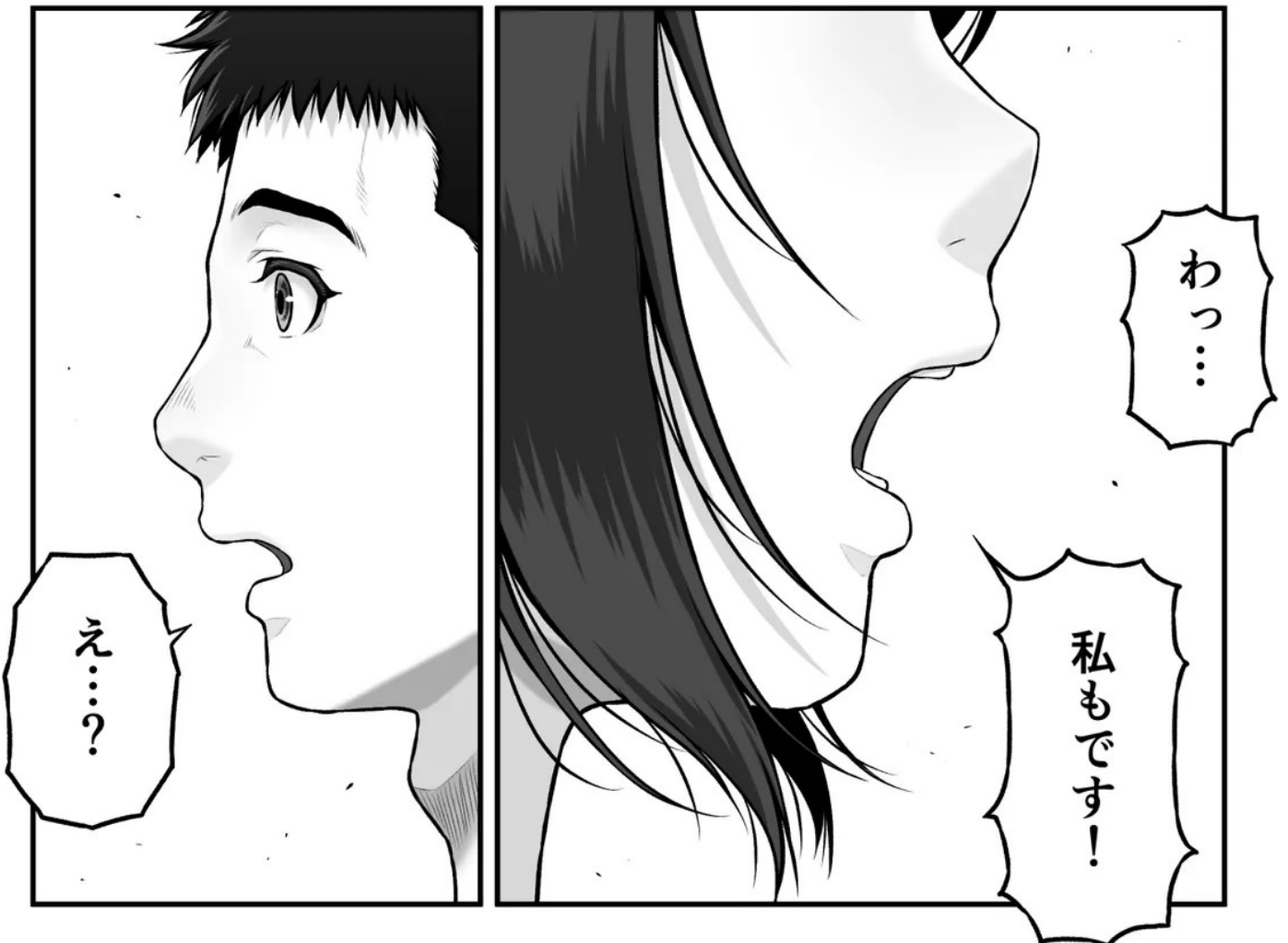
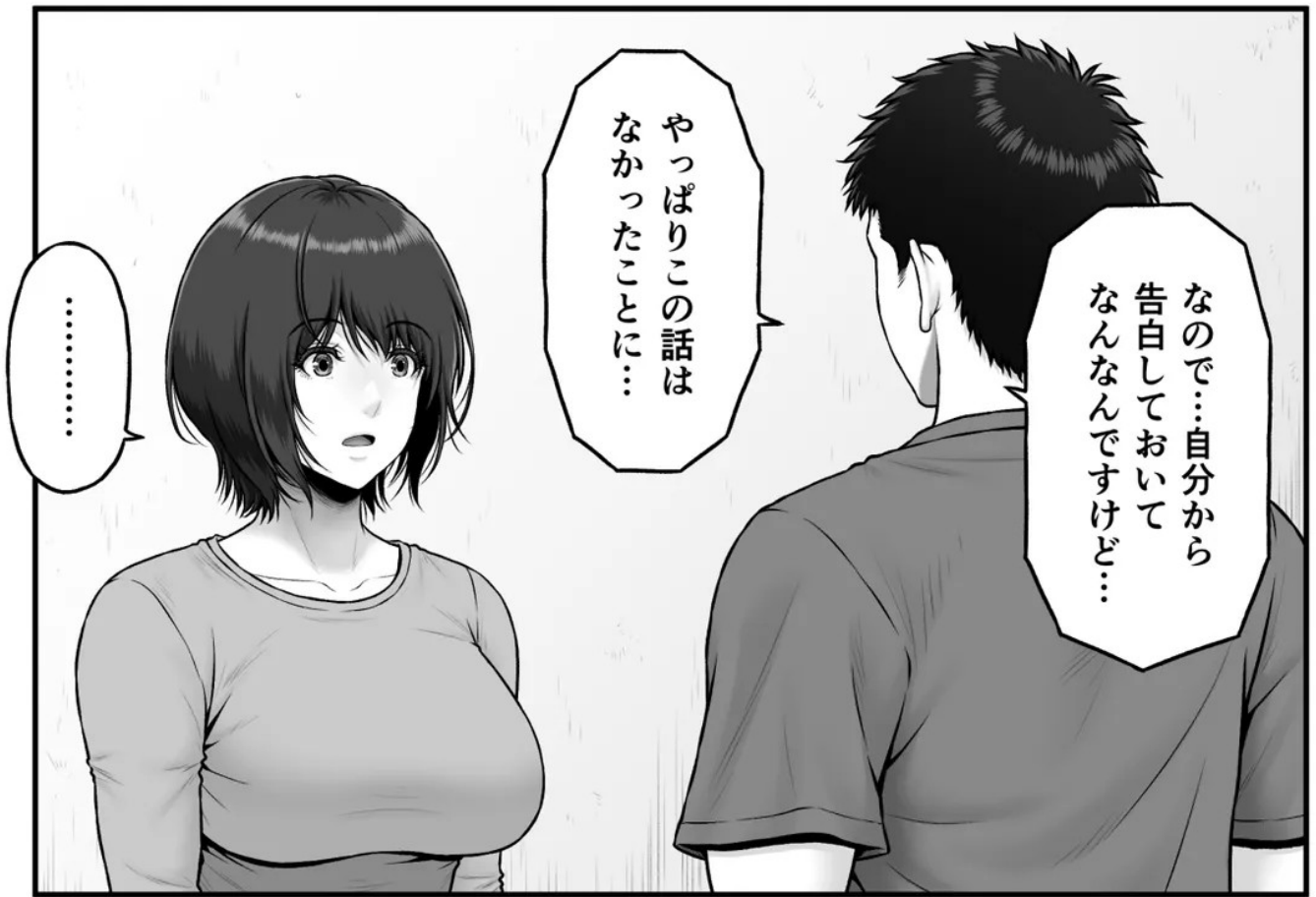
だから…さっきは
玉碎するつもりで
あなたに告白したのに

予想外の返事だったので
逆に動揺してしまいました

好意を抱いてもらえて
いたことがすごく嬉し
かったんですけど…

やっぱり自分は
受け入れてもらえない
だろうなって…

広森さん…





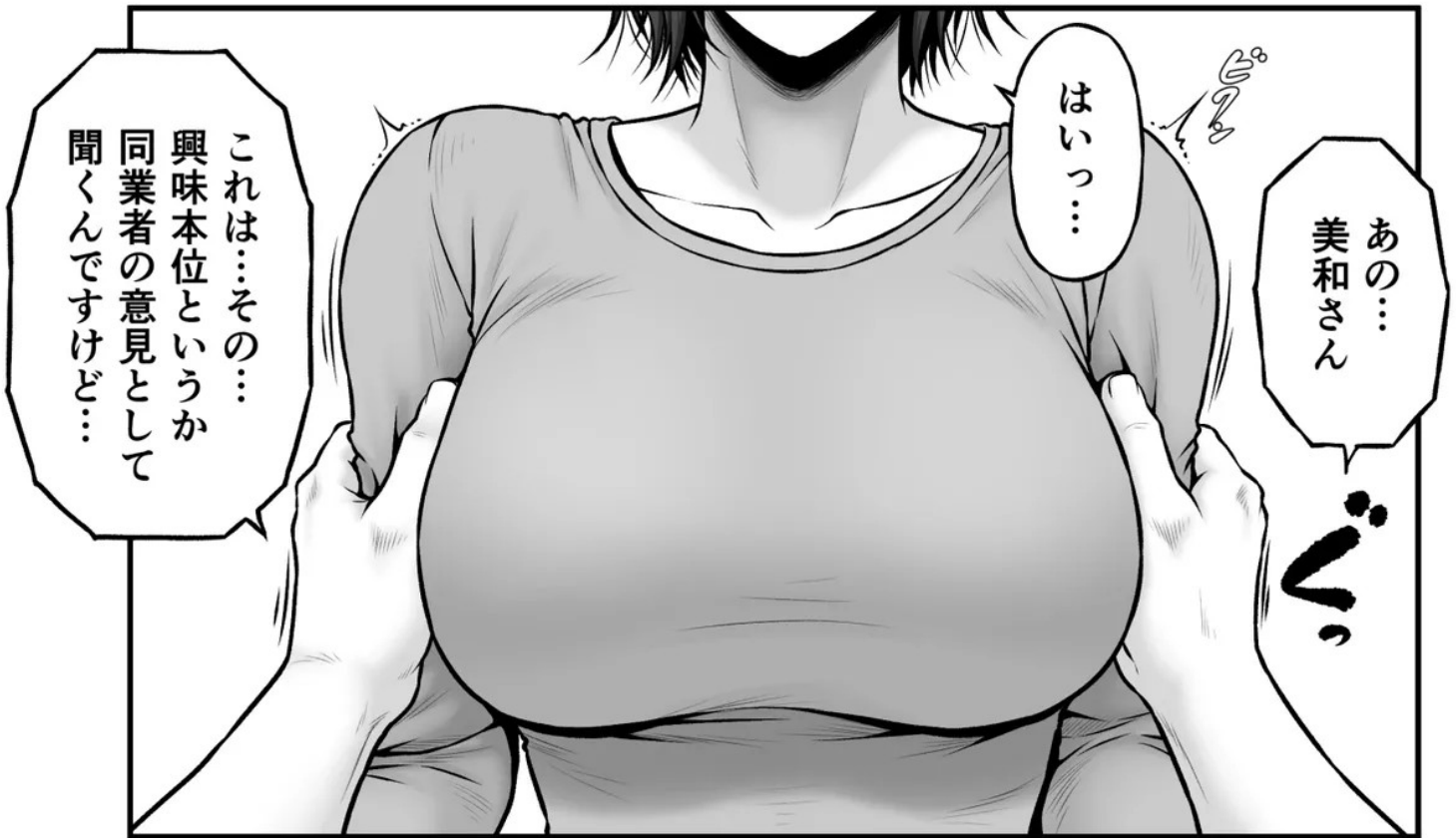
私…

私も…同じ理由で以前
付き合っていた彼と
別れました…

DL同人作家なんです



えっ



はいっ...

あの...
美和さん

び

これは...その...
興味本位というか
同業者の意見として
聞くんですけど...



もし今この状況が
同人の世界だったら...

次はどんな展開に...
なると思いますか?



いやっ…あの…
あくまで漫画だったら
の話なんですけど…



!



お互い好意を
もっている
わけですし…




そう…ですね
もしこれが同人の
世界なら…

ページ数の都合も
ありますし…



二人きりですし…



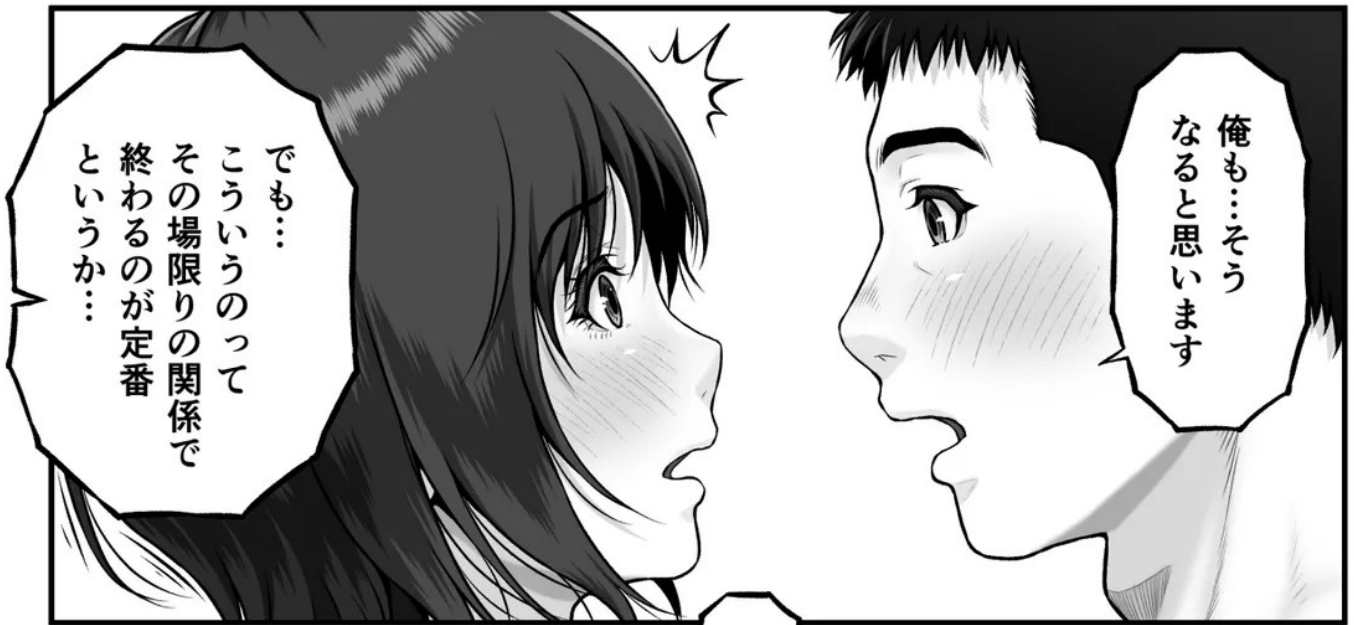
そのまま勢いに
任せて最後まで…

し・ち・や・う・ん・じ・や
ないでしようか…



広森さんは…

どう…
思われますか？



俺も…そう
なると思います

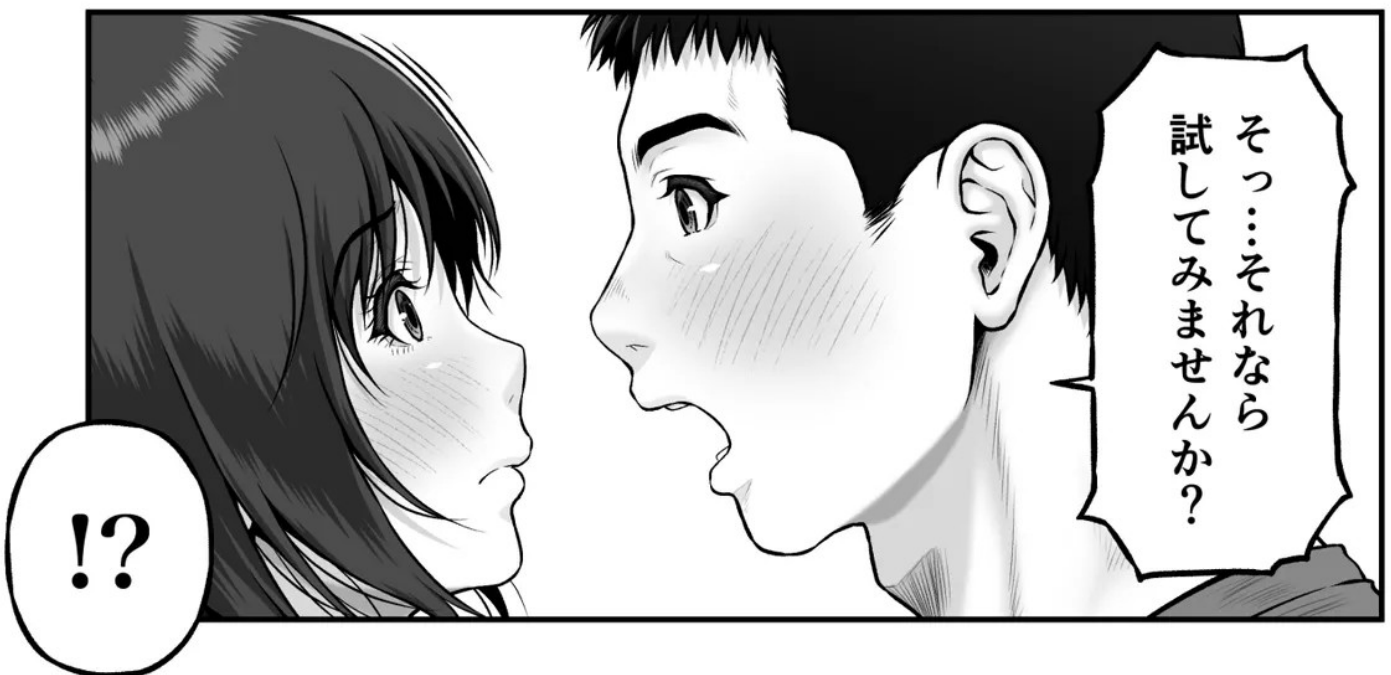
でも…
こういうのって
その場限りの関係で
終わるのが定番
というか…

……




そう…ですよね…
好意があるといつても
ほとんどなにも
知らない同士ですし…

たぶん…すぐに
冷めちゃい
ますよね…



そっ…それなら
試してみませんか？

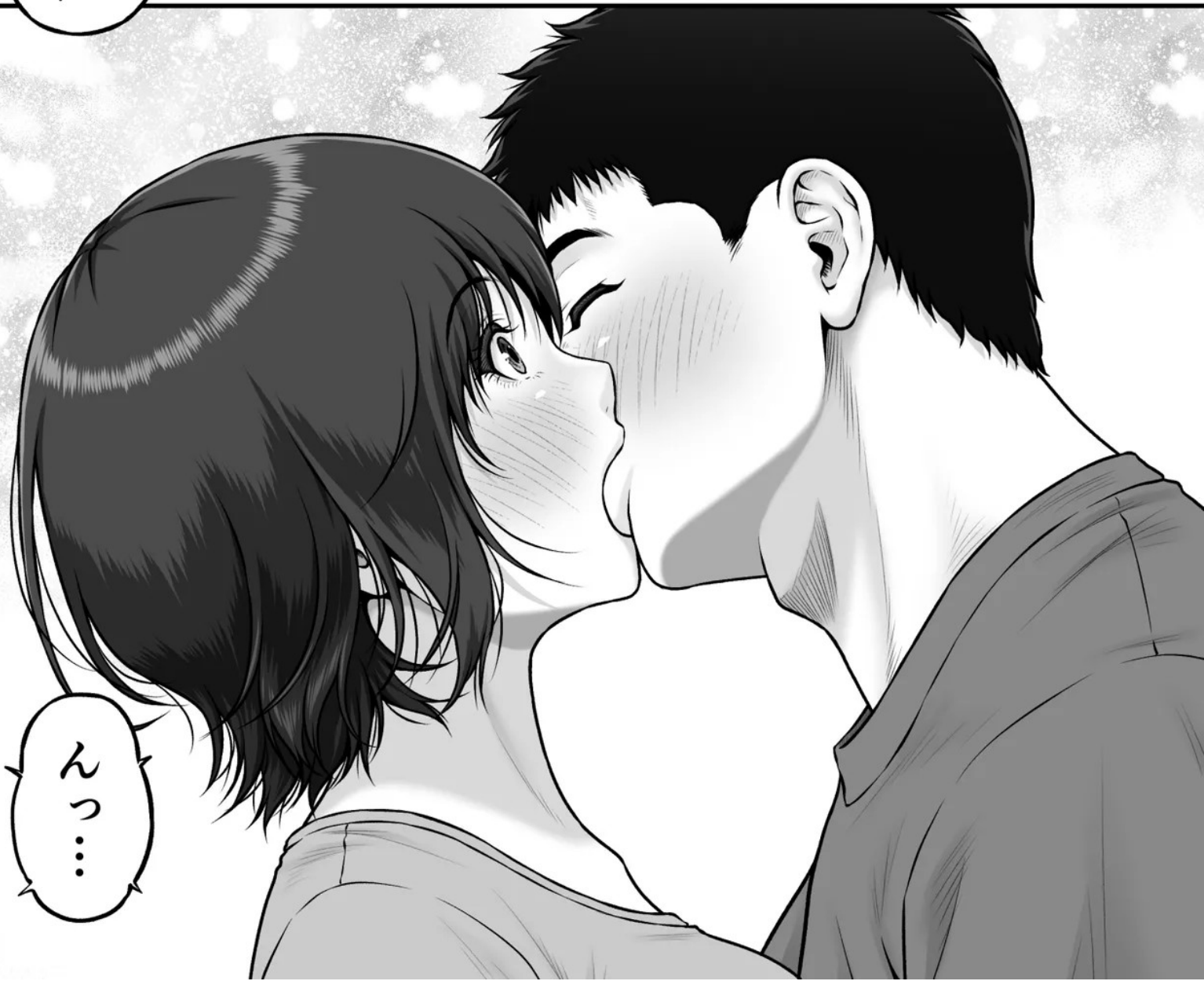
!?

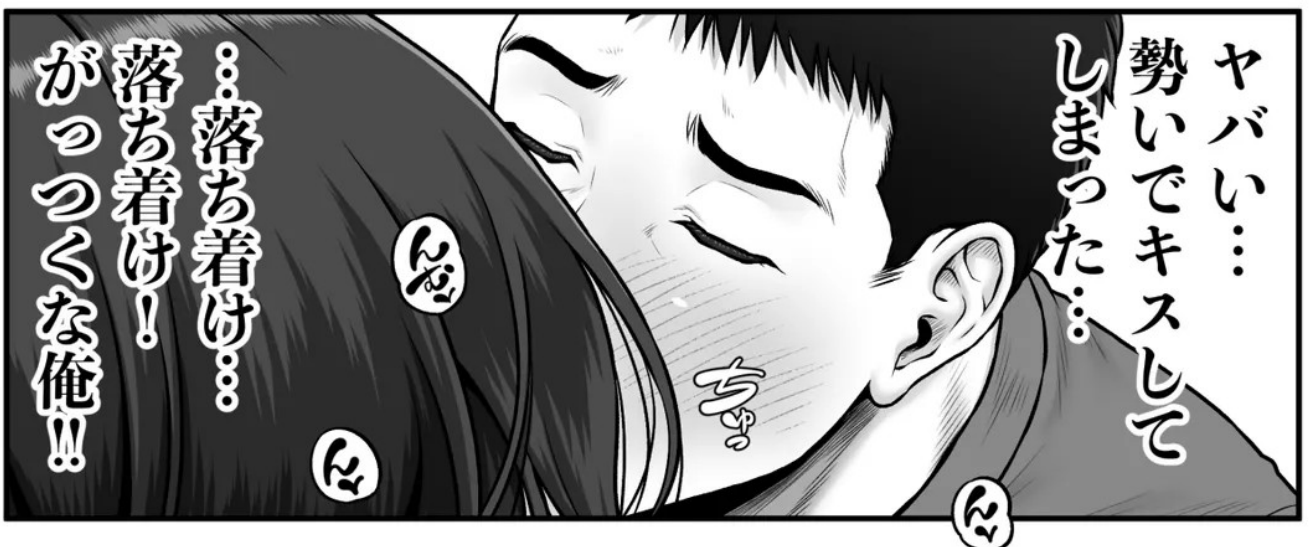
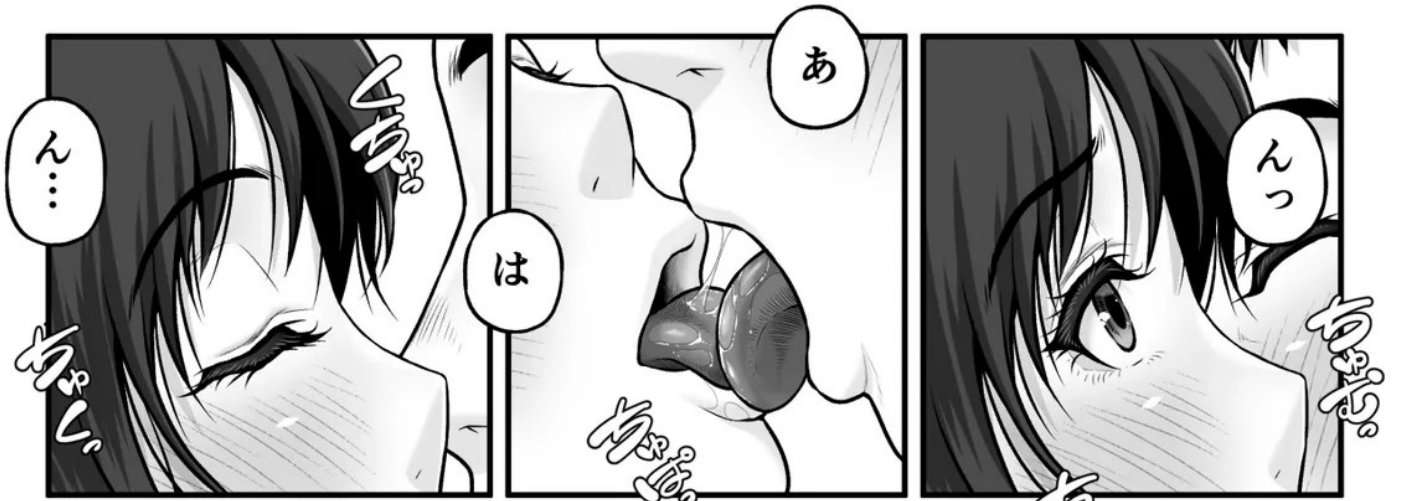


自分たちみたいなの
出会い方をした男女が

本当に一過性のもので
終わってしまうものなのか

作家としてリアルに
体験してみるのも…
アリなんじゃ
ないでしょうか！





7年ぶりのキス…



興奮しすぎて
頭がどうにかなりそうだ…

人肌のぬくもり…

感触…匂い…

彼女から伝わる

そのすべてが

五感を刺激する…



エロシオンなんて飽きるほど
描いてきたはずなのに…

なんでこんななに…



なんで…

あ…



興奮するんだ



何年ぶりだろう…

は、



あつとゆう間に
脱がされちゃった…

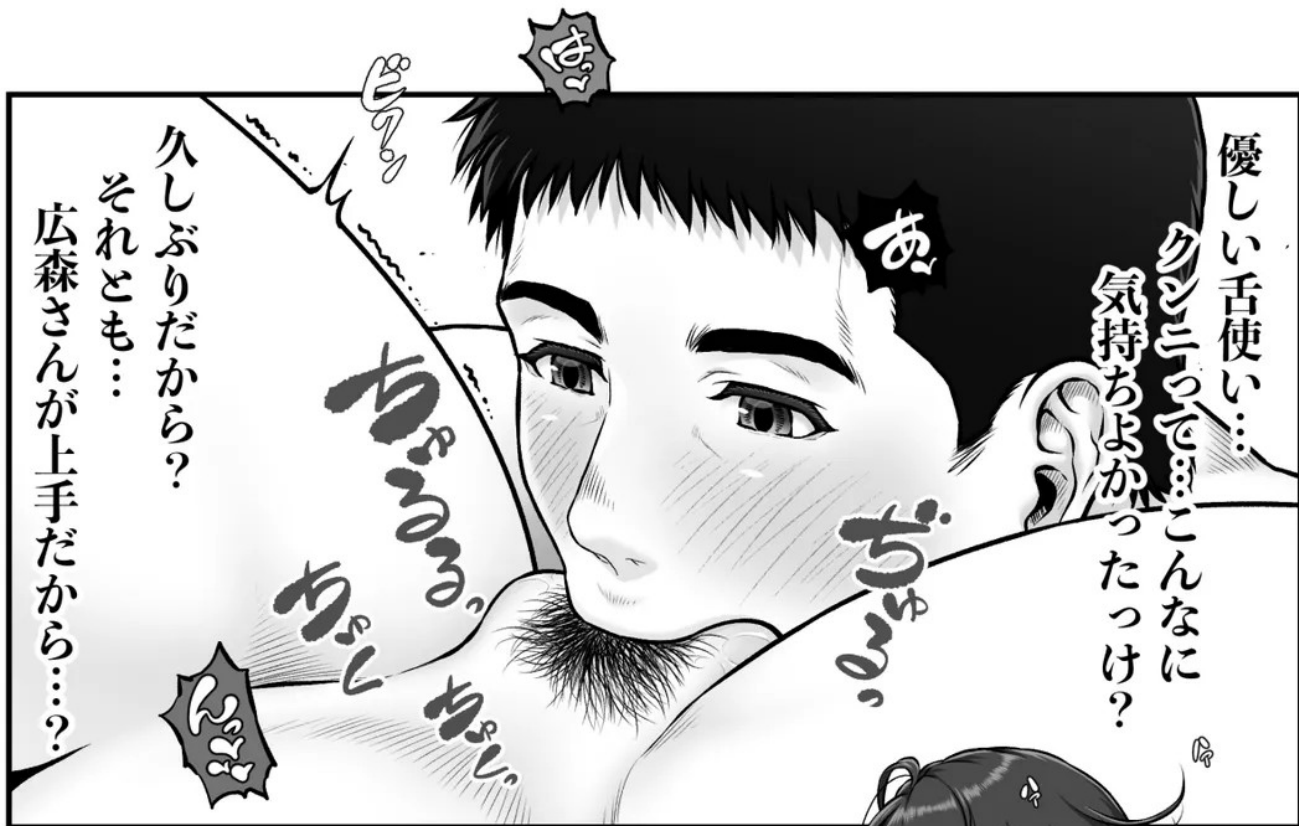


男性の裸を
生で見るの…



私の事…
ほとんど知らなくても

あんなに勃つんだ…



優しい舌使い…

クンニのでもこんな
気持ちよかつたっけ？

あ

あ

あ

あ

あ

久しぶりだから？

それとも…

広森さんが上手だから…？

ん



ダメ…頭が…

真っ白になる…

あ

あ

あ

あ

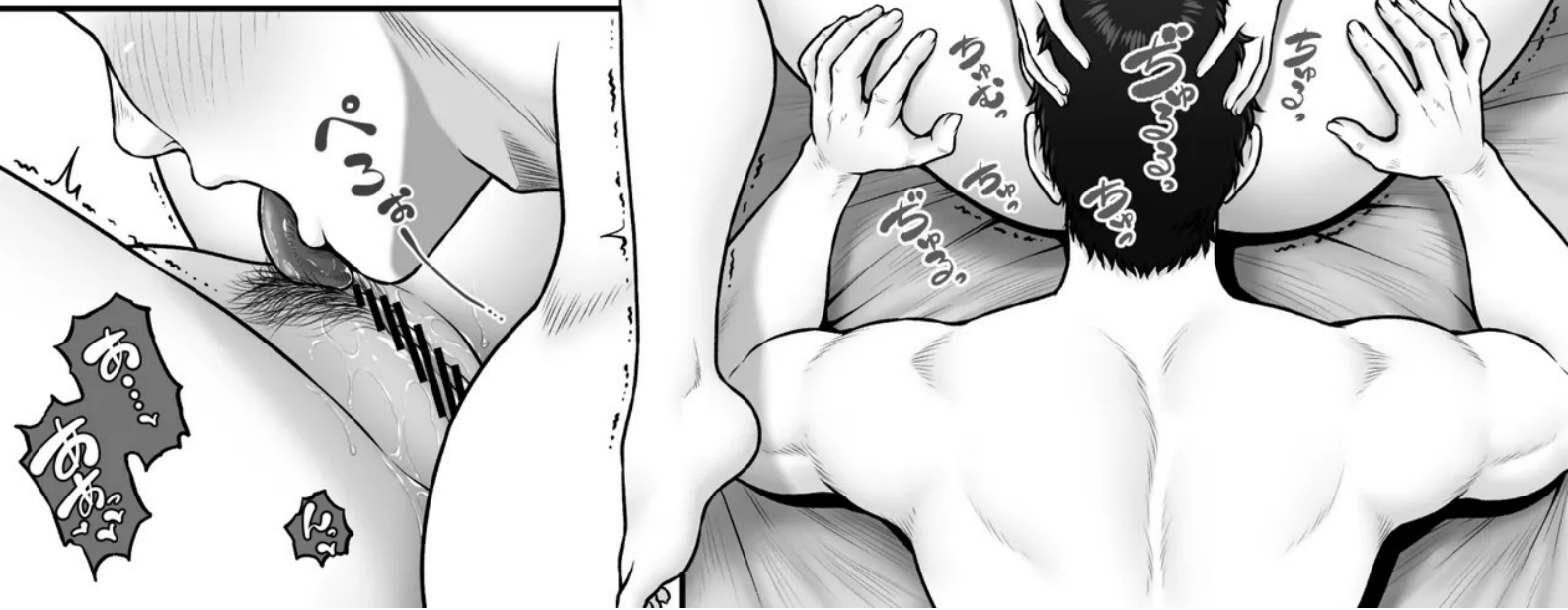
あ

あ

あ

あ

あ



あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

恥丘から…

おへそへの連続愛撫…

腰から脇腹…

ちゅっ…

緩やかな
ボディタッチは双丘へ…

あーん

そして…優しく
乳首を刺激しながら…

意表をつく左下乳への
吸引愛撫…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

あーん

って…えっ!!
まって!
この前戯の流れ…

私…知ってる!!

ドッ

ドッ

ドッ

あーん

あーん

あーん



たしか...

最後は右耳に優しく

触れながら...

ちゅっ

ちゅっ

はっ

左首筋へキス...



間違いない...これって...

んっ



流れるような挿入...

ちゅっおおお...

はっ

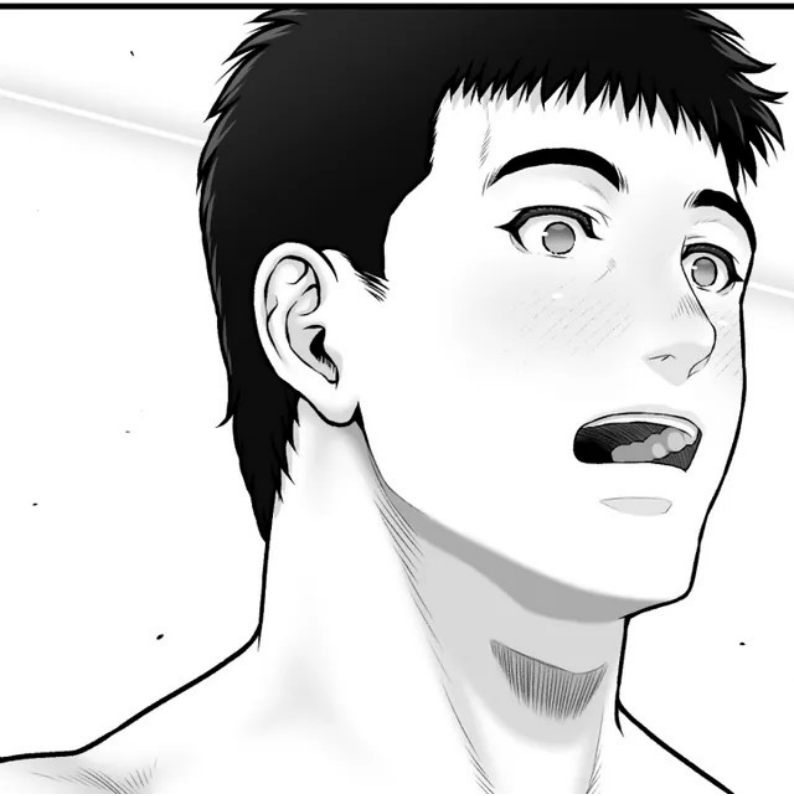


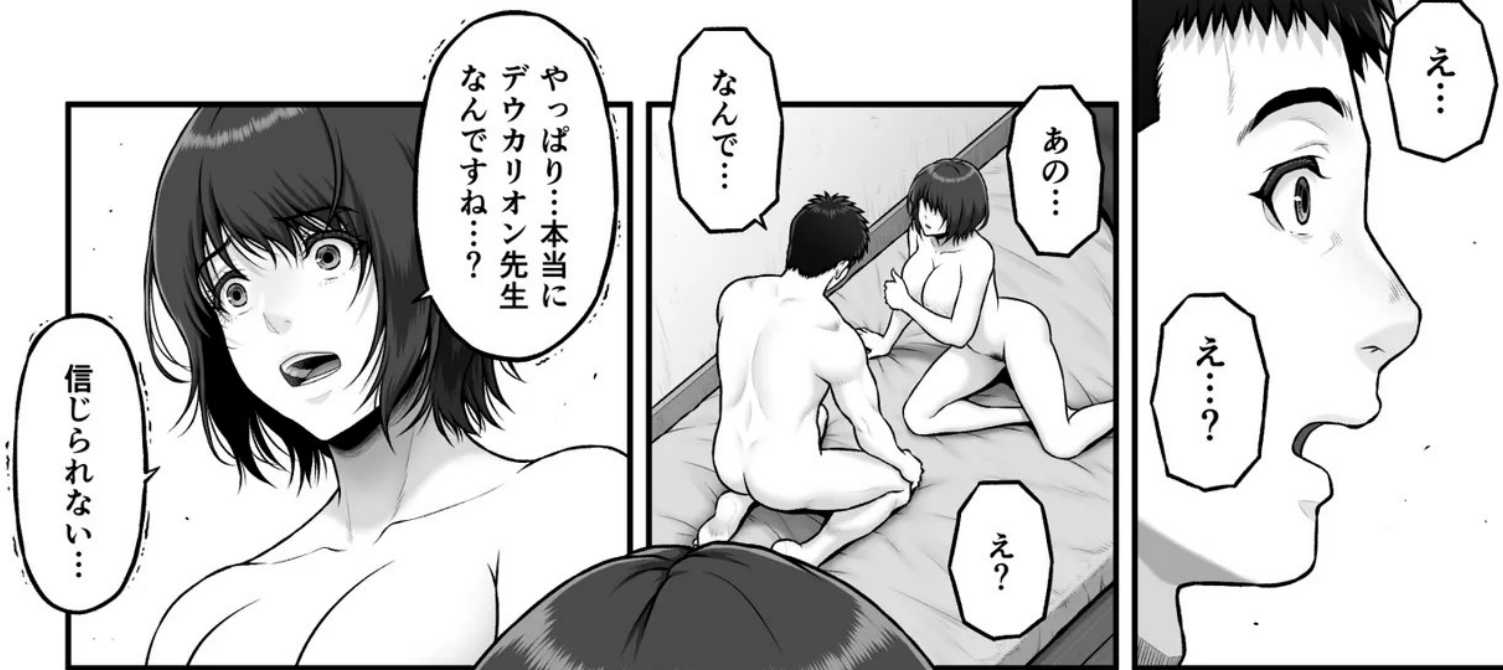
完全に意識を

上に集中させた

タイミングで...

あゝ





やっぱり…本当に
デウカリオン先生
なんです…?

なんで…

あの…

え…

え…?

え?

信じられない…

私…先生の
大ファンなんです！
作品の内容をすべて
覚えているくらい…

だから…
わかつちやいました



今の私があるのは
先生のおかげなんです

本当に…
ありがとうございます

そんな…
俺はなにも…

でも…そんな風に
言ってもらえて…
嬉しいです

推しの作家さんの
存在って…大きい
ですよ

俺にも…そういう
作家さんいるんです

『ファーストラヴ』以降
なかなか思うような作品が
描けなくてずっと苦しんで
いたんですけど…

その作家さんの作品を
読んでやる気をもって
いるというか目標が
できたというか…

目標というより
憧れに近いかも
しれないですけど…

超大手サークルさんなので
もしかしたら美和さんも
ご存知かも知れませんか



『ぴゅら』さんっていう
作家さんなんですけど…



おはは…
サークル名も俺の
好きな名前だったので
余計に気になって
しまったというか…

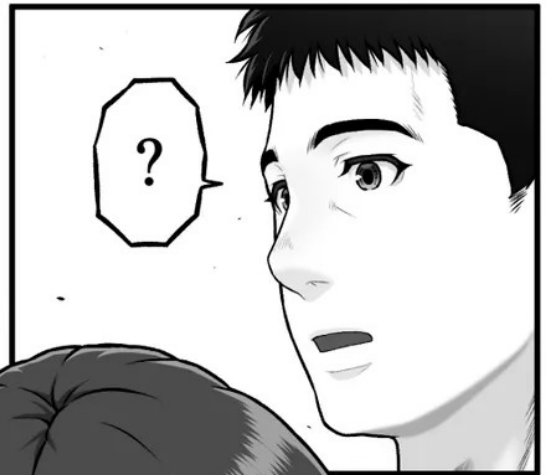
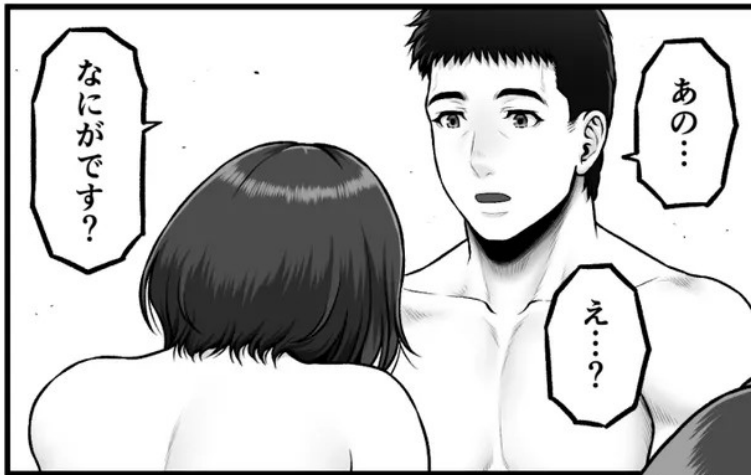


美和さん？

あの…



私です…



『ぴゅら』です



私が…



冗談…
ですよね？



本当なん
ですか…？



作品を作り続けていれば
もしかしたら先生に気づいて
もらえるかなって…それで…

さっきも話しましたけど…
DL同人を始めたきっかけは
先生の作品を読んで
自分もこんな漫画を描いて
みたいと思ったからなんです

サークル名を『びゅら』に
したのも先生のサークル名が
『デウカリオン』だったから…

……



俺も：俺もずっと
あなたの作品を読んで
いました！
あなたのような漫画を
描きたいって：

信じられないです：
片思いだった人がまさか
憧れの作家さんと同じ人
だったなんて：



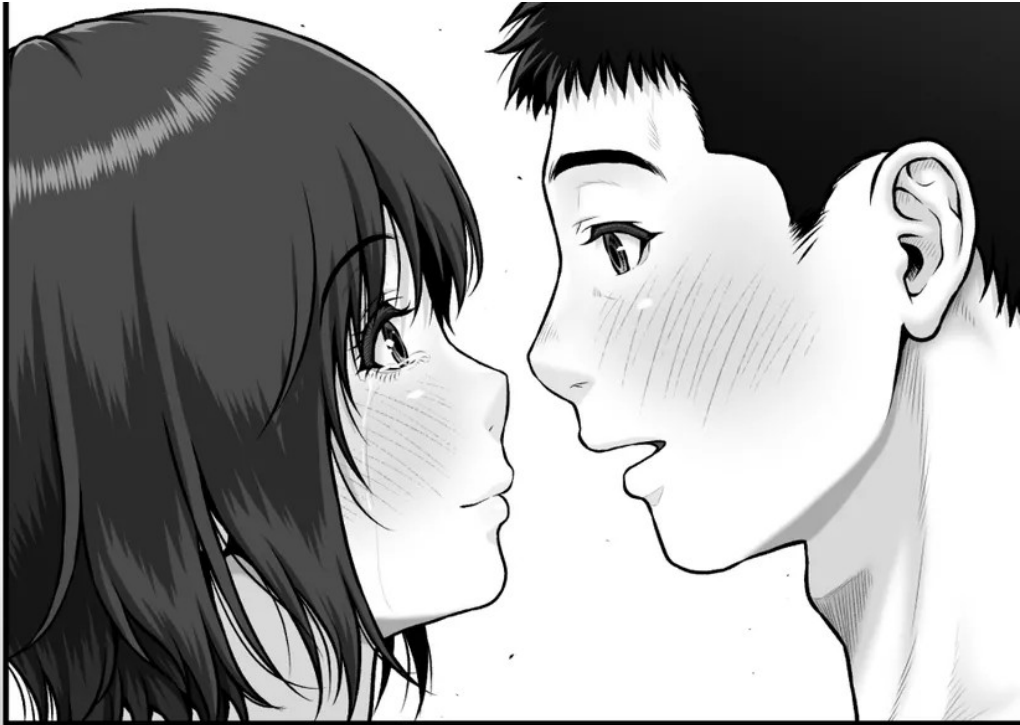
私もです：
5年も：：5年もずっと
隣に住んでいたのに：

もっと早く知りたかった！





拓さん…



続き…

してほしです







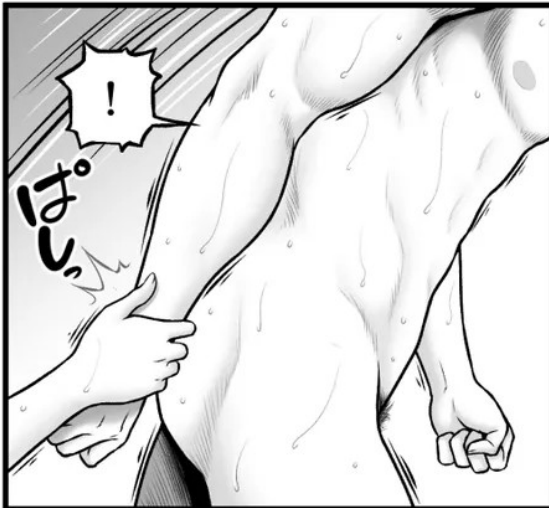
あはれ

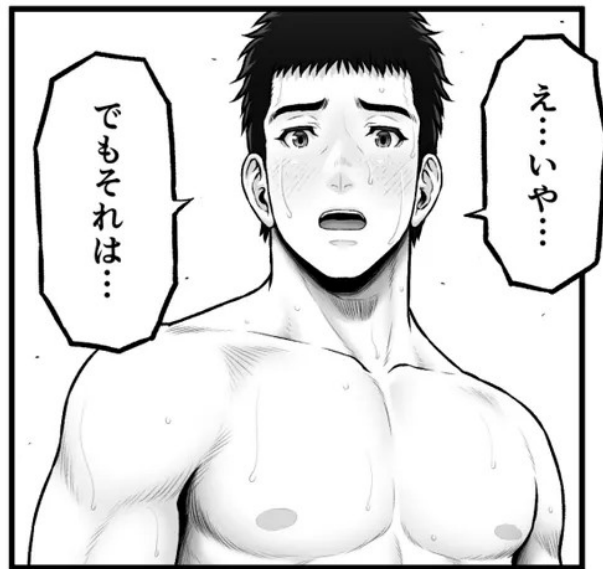
うわあ

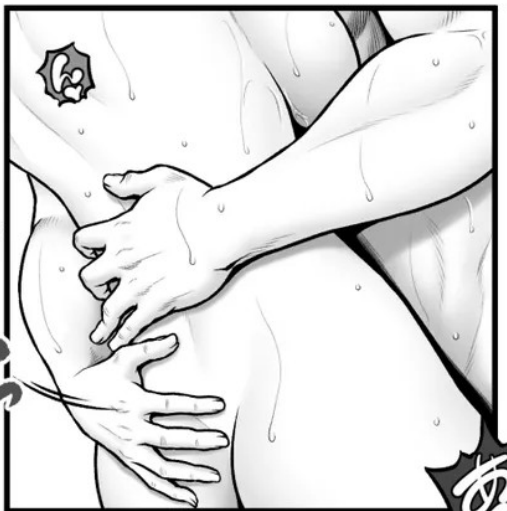
あ

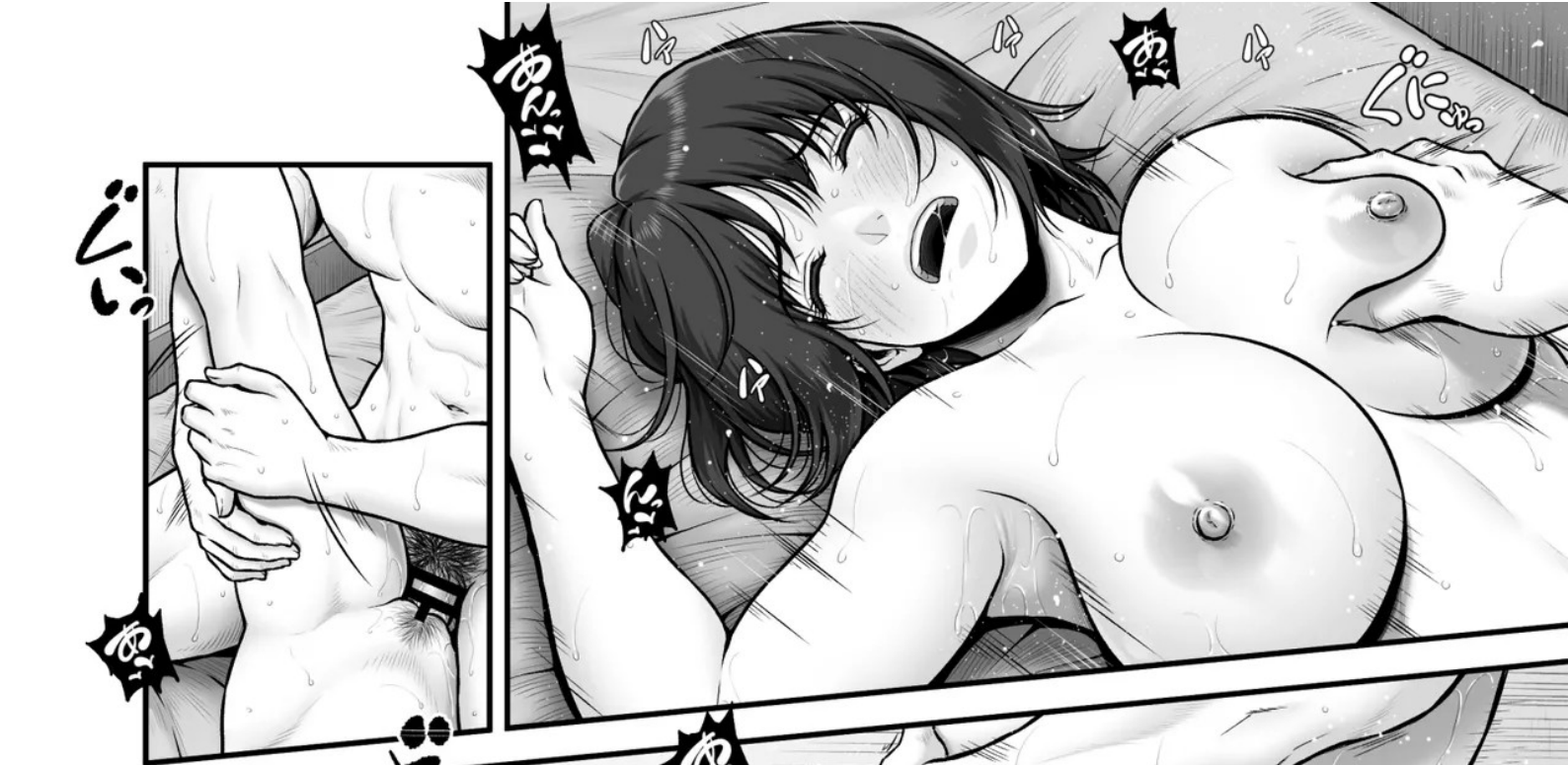
すごく…熱い…
精液の匂い…
1回の射精でこんなに
出されたの…初めてかも…

それに…拓さん
ちゃんと外に出してくれた…

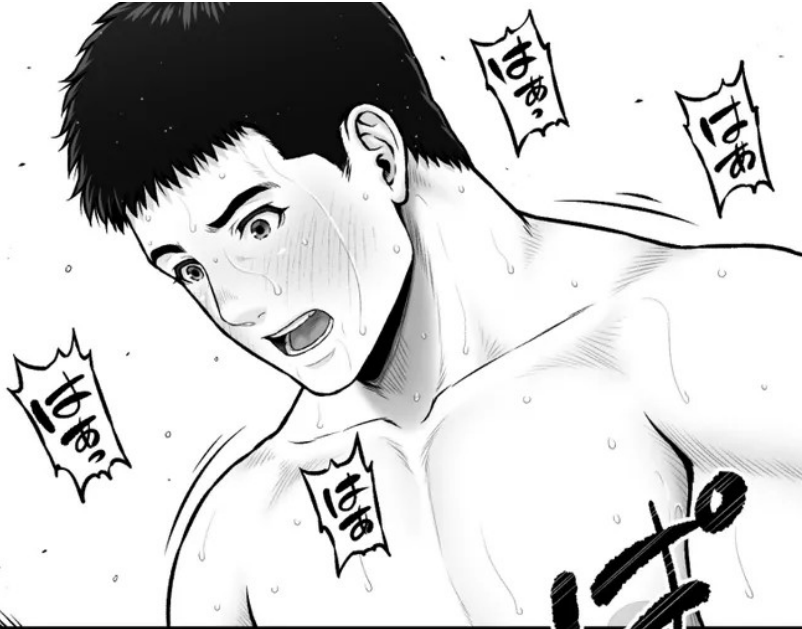














あーん
あーん
あーん

あーん
あーん
あーん

あーん
あーん
あーん

あーん
あーん
あーん

ぽん
ぽん
ぽん

ぽん
ぽん
ぽん



拓さん…
さっきとはまるで
別人みたい…

今度は…私の方が
何度もイカされ
ちゃってる…



こんなに…

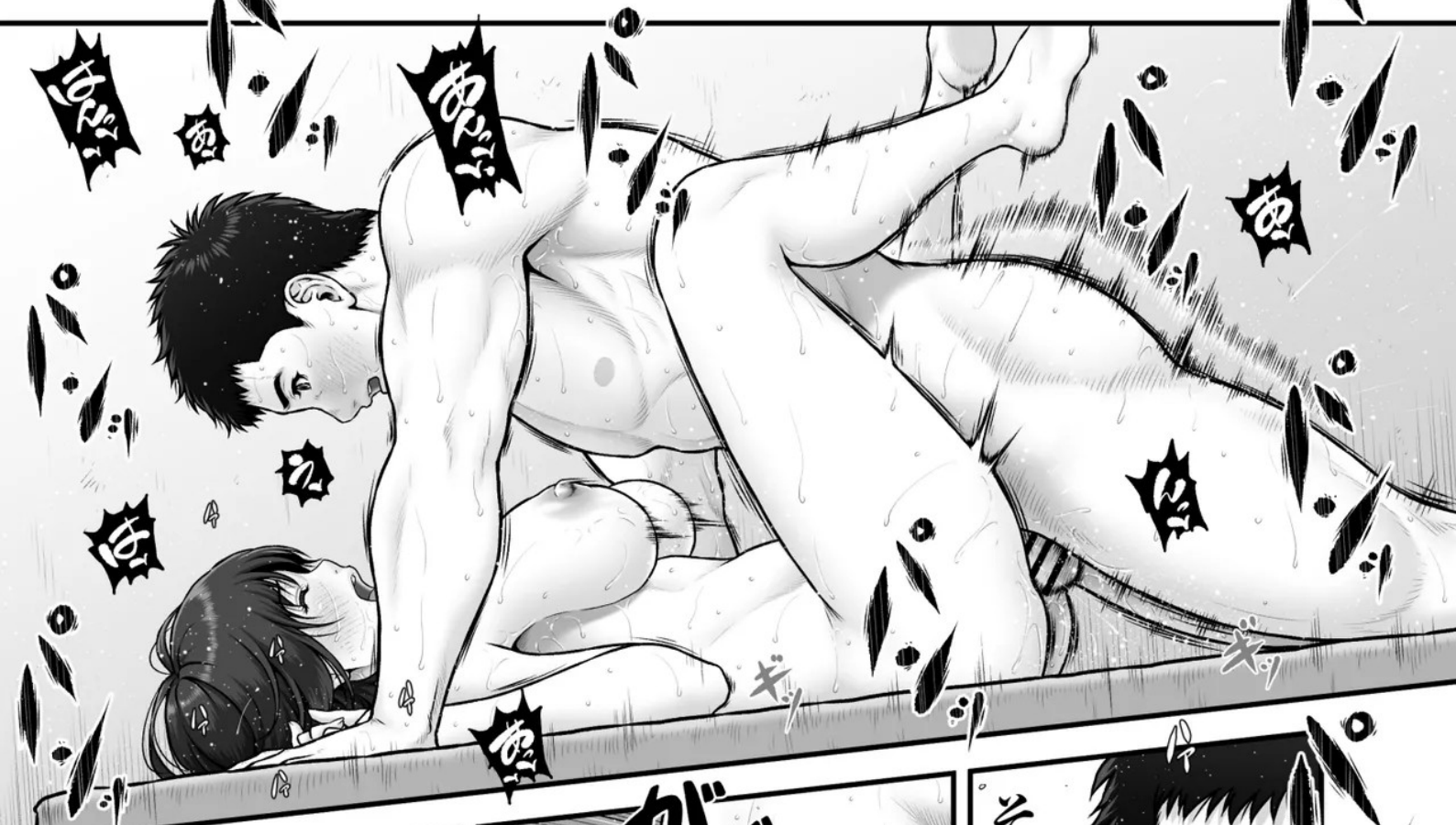
こんなにも気持ちいいセックス

拓さんが初めて…



あーん

あーん



がば



なるなる...ヤバイ!



拓さんっ

お願いっ…
このまま奥に…
一番奥にっ…

あ

あ

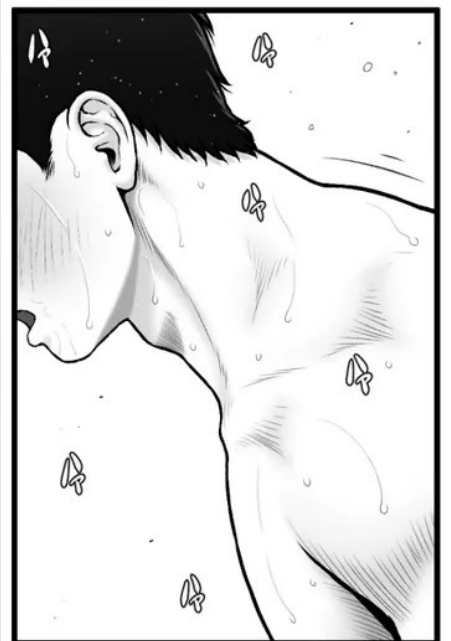
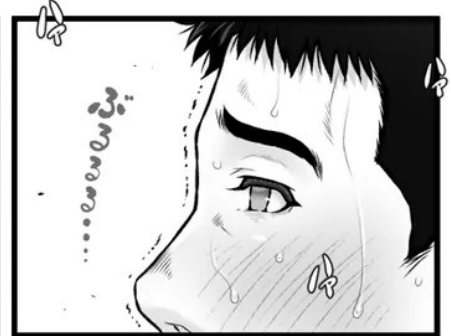
射精^だしてっ…

いきます…
美和さん！

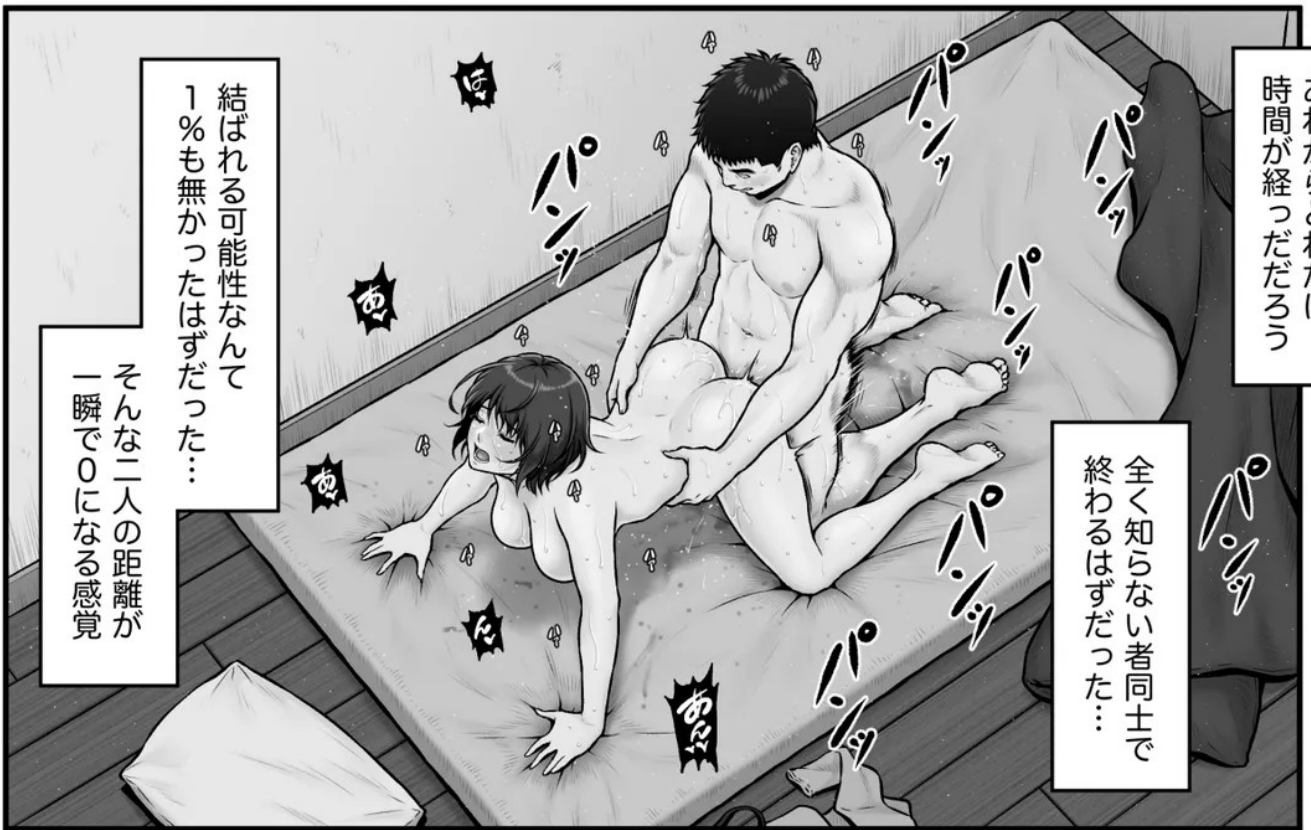
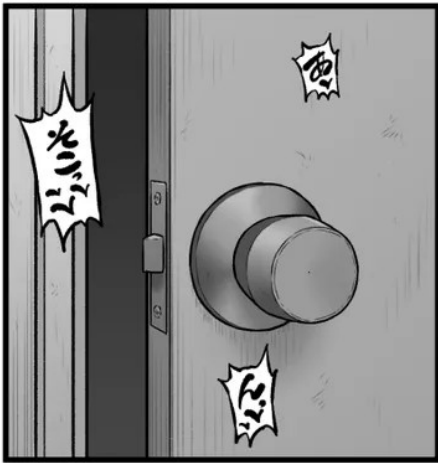
膣^{なか}内^かにっ…











結ばれる可能性なんて
1%も無かったはずだった…
そんな二人の距離が
一瞬で0になる感覚

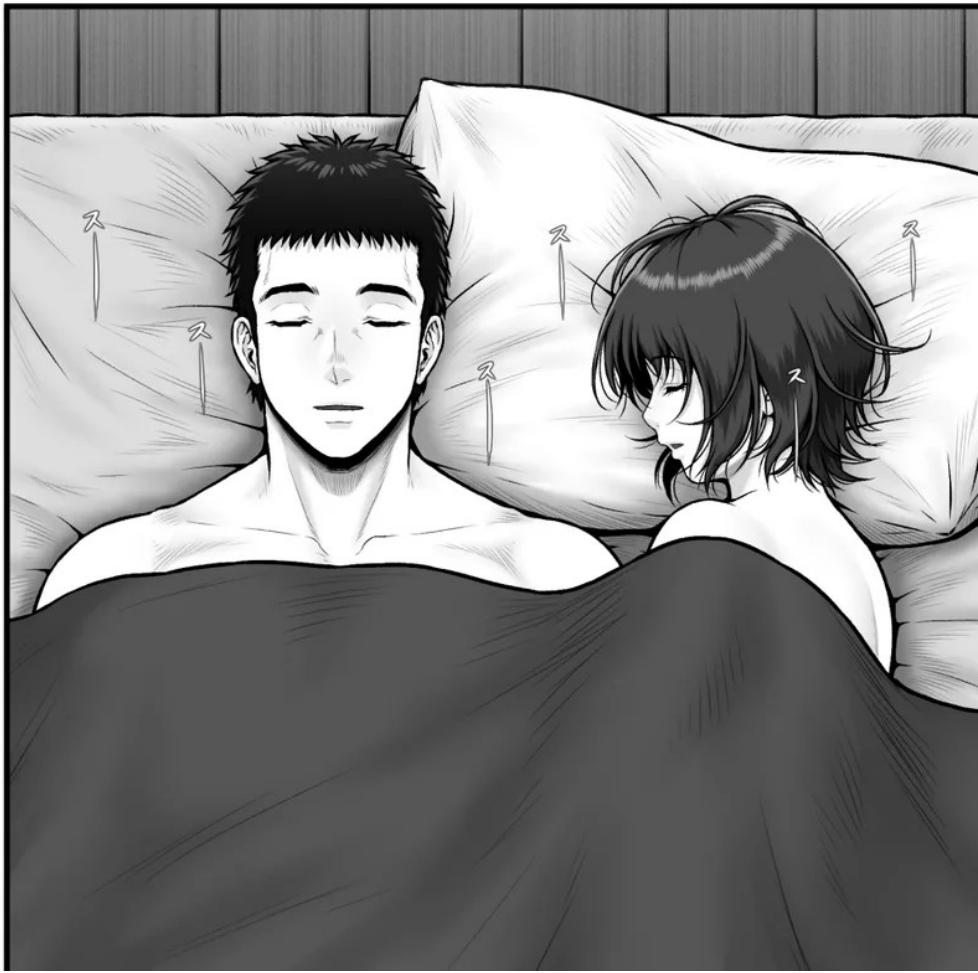
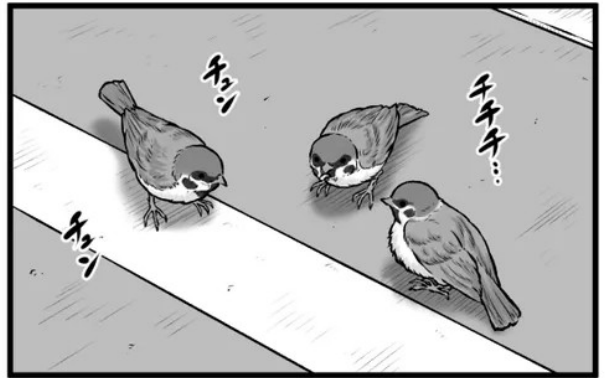
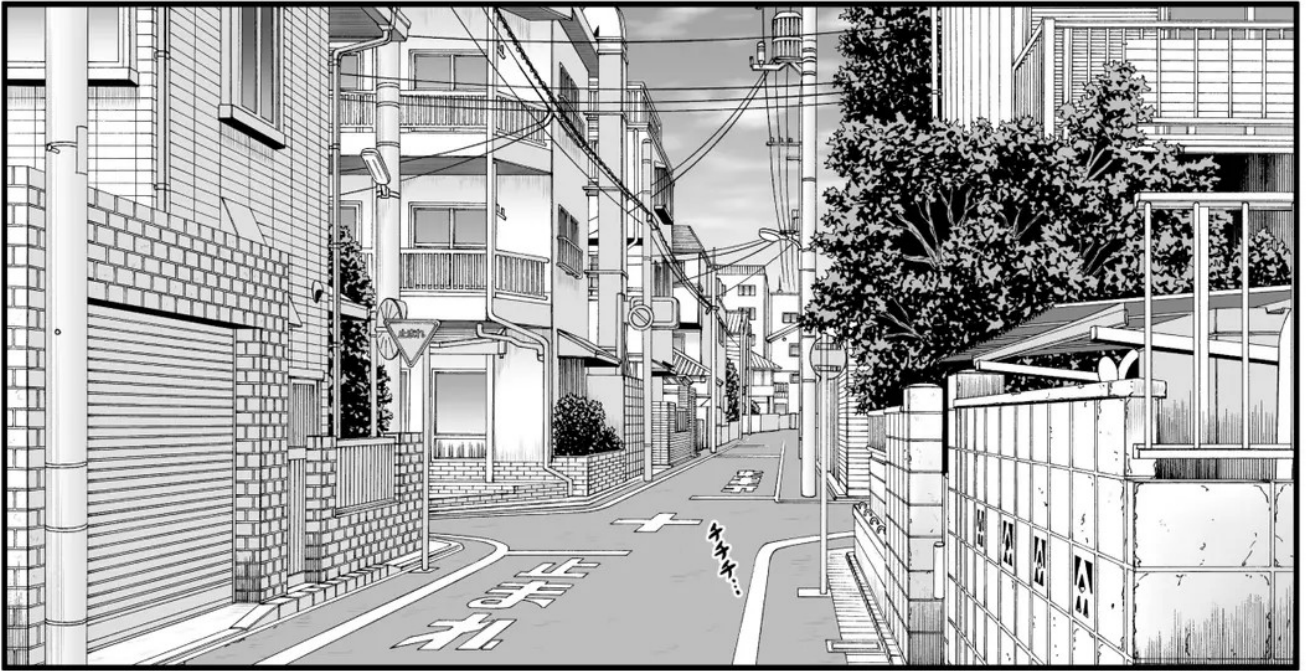
あれからどれだけ
時間が経っただろう

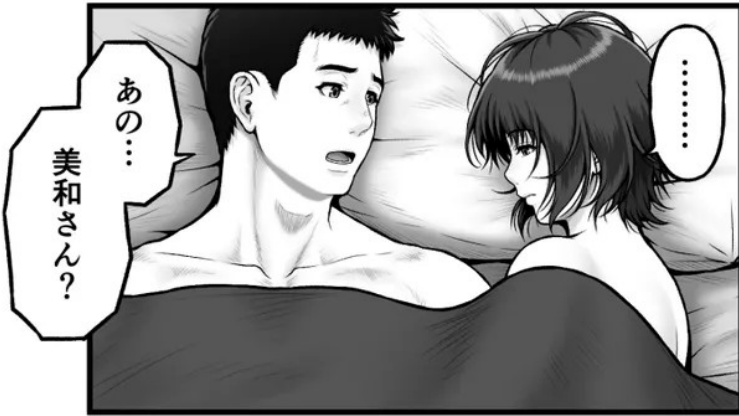
全く知らない者同士で
終わるはずだった…

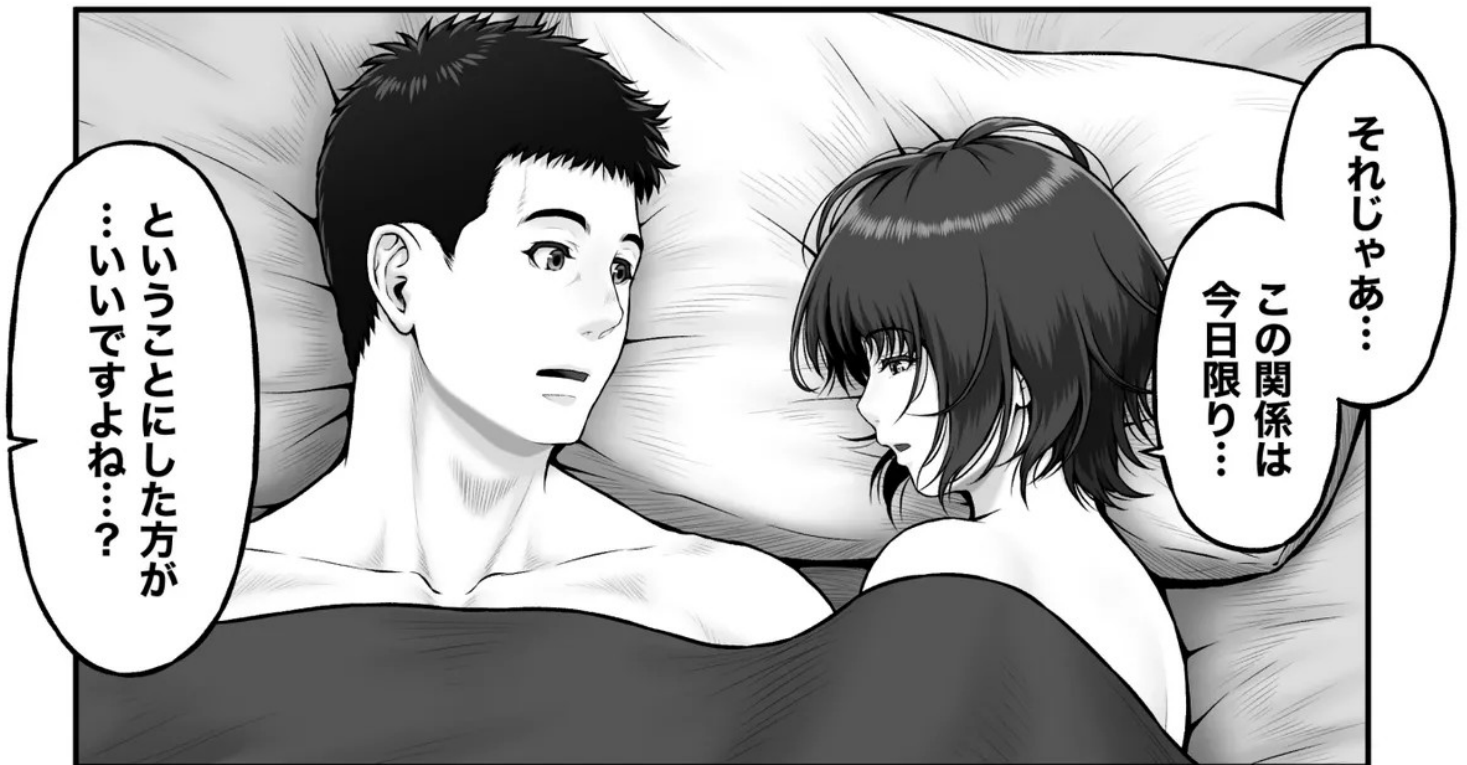
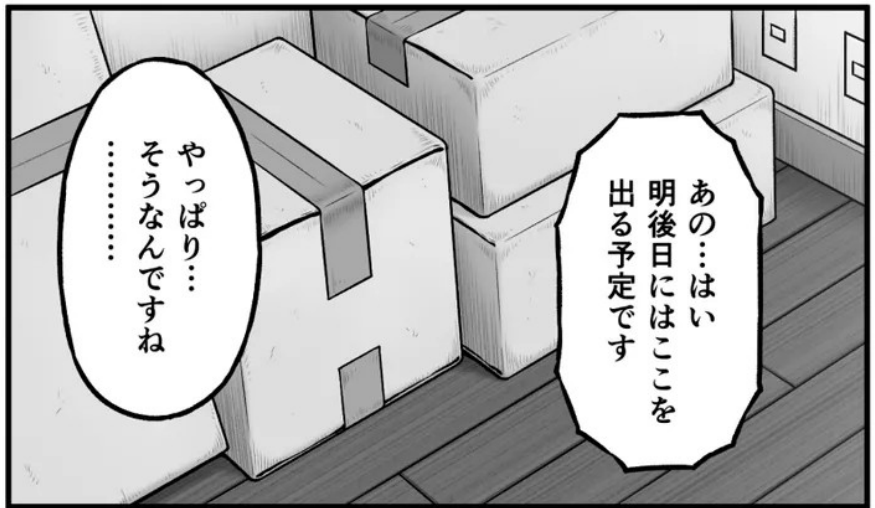


月並みだけど…
それはまさに夢のような
時間だった

作品を通して俺たちはすでに
互いを深く理解し合っていた
んだと確信するほどに…







美和さんさえ
嫌じゃなければ…
なんですけど

その…

俺と一緒に
住みませんか？

え…

俺…長いこと
同人だけをやってきて…
たぶんこの先もこのまま
何の変化もなく生きて
いくんだろうなって
思ってたんですけど…

美和さんとなら
人生をもっと楽しく
生きられるんじゃない
かって…

そう思える…
というか

一緒に生きたいと
思えるんです！

拓さん…

はいっ！

私の方こそ…
よろしくお願ひします！



こうして1ヶ月後
俺たちは新しい引っ越し先で
一緒に暮らし始めた

あの…話は変わるんですけど
美和さんって…めっちゃくちゃ
稼いでますよね？
なんでこんな古いアパートに
ずっと住んでたんですか？
セキユリティだって
ガバガバで危ないし…

そっ…それは…
最初はお金があまり
なくて…
それに…その…
拓さんがいたから…

え？

なっ…
なんでもないです！

自分の仕事に理解のある人が側にいていつでも互いに助け合える



うんでもうあと15分だけ待って♪

そろそろ休憩入れる？

オッケー♪じゃあこっちもそれまでにこのページのペン入れ終わらせる

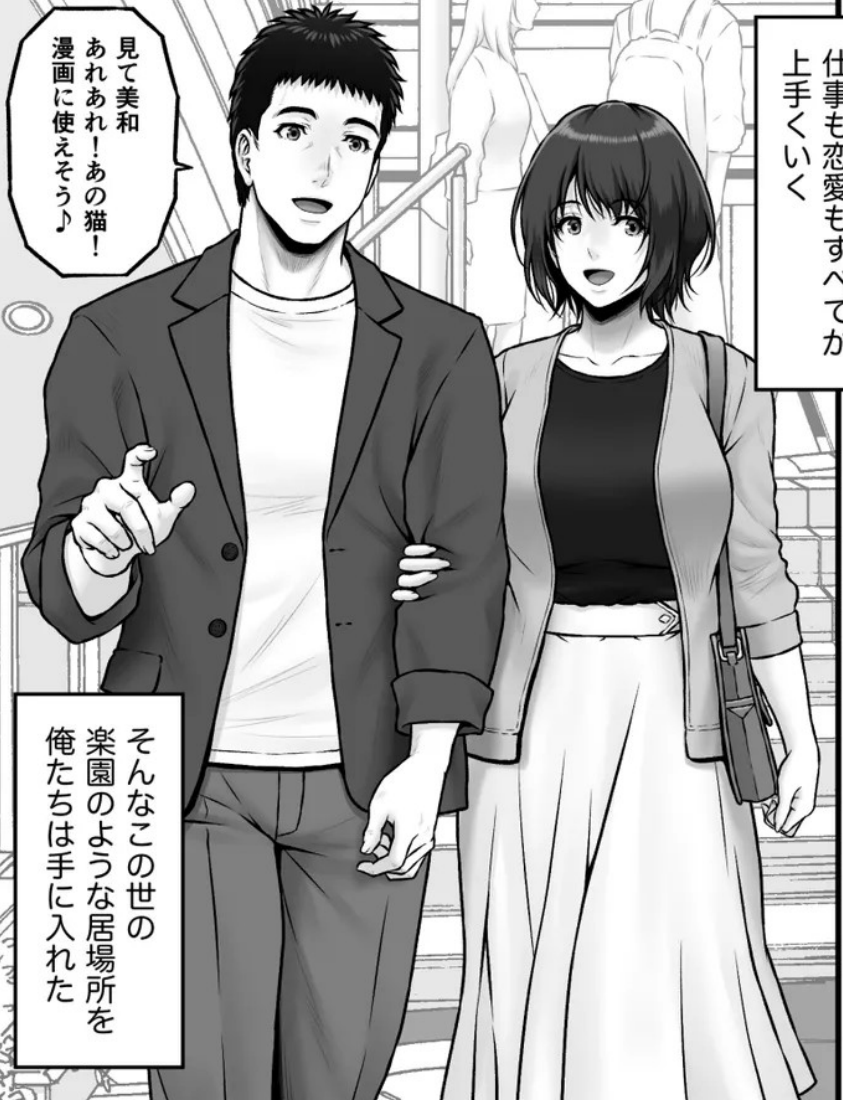
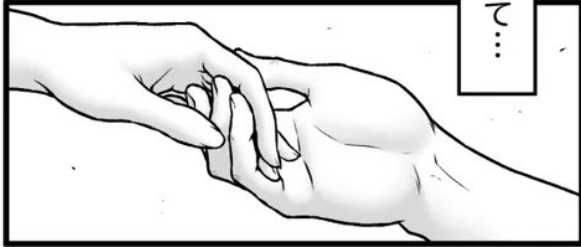
そして…



今日のおやつはムッシュドーナツのモッチリング♪

はい、休憩ですよー♪

あっそれ好きなやつ♪



見て美和あれあれ！あの猫！漫画に使いそう♪

そんなこの世の楽園のような居場所を俺たちは手に入れた

ともに人生を楽しみ仕事も恋愛もすべてが上手くいく



いつでも愛し合える

俺たちが歩んだ

この奇跡のような人生は

おはよう
今日も寒いねえ

おい

ここから始まった



登場人物

下村 美和/ぴゅら(28)

DL同人作家(同人歴7年)。
サークル『ぴゅら』の名で活動中。
ほとんどの作品が累計30万DLを突破しており『純愛の伝道師』の異名を持つ。
広森の代表作『ファーストラヴ』を読んだことがきっかけでDL同人を始めるが、そのことが当時の彼氏にバレてしまい破局。
それ以来恋愛に前向きになれず引き籠もっていたが広森の描く作品に何度も勇気づけられた下村は5年前コーポヘスペリデスに引っ越したのを機に同人活動に没頭するようになり、わずか1年で超大手サークルへと成長した。
『体が資本』をモットーに、日々のボディケアを大切にしており、生活リズムが乱れがちな作家業ではありながら抜群のプロポーションを維持している。

今の私があるのは

あなたのおかげです。

ずっと。伝えたかった。

大家さん



悔いのないようだよ。

どうせ引越すんだ。それなら。せめて。

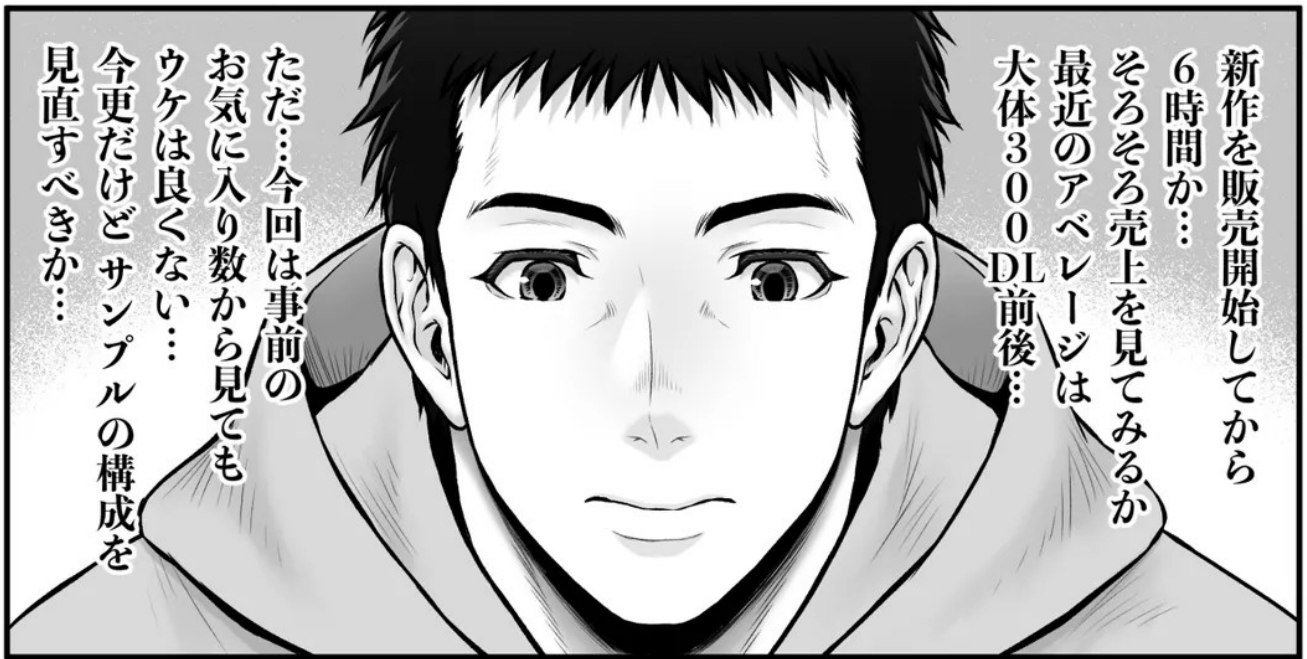
広森 拓/デウカリオン(31)

DL同人作家(同人歴13年)。サークル『デウカリオン』の名で活動中。
純愛物を得意としており、同ジャンルで活躍中の超大手サークル『ぴゅら』の大ファン。
7年間住んだコーポヘスペリデスに別れを告げ、心機一転同人作家としてさらなる飛躍を決意した。引越す3日前、玉砕覚悟で隣人の下村に告白したことで、長きに渡る灰色の同人生活に終止符を打つ。過去に1作だけ奇跡的な売り上げを記録した作品『ファーストラヴ』は、累計18万DLを突破している。

※累計は値引き無しの売上本数

時は3年ほど前に遡る…





新作を販売開始してから

6時間か…

そろそろ売上をしてみるか

最近のアベレージは

大体300DL前後…

ただ…今回は事前の
お気に入り数から見ても
ウケは良くない…
今更だけどサンプルの構成を
見直すべきか…



今作で嫌な流れは断ち切りたい
せめて200DLあたりで
踏み止まってくれてれば…



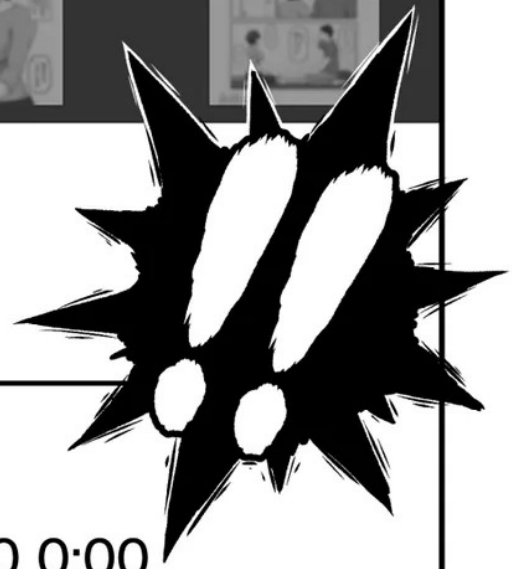
トータル販売数 **53**

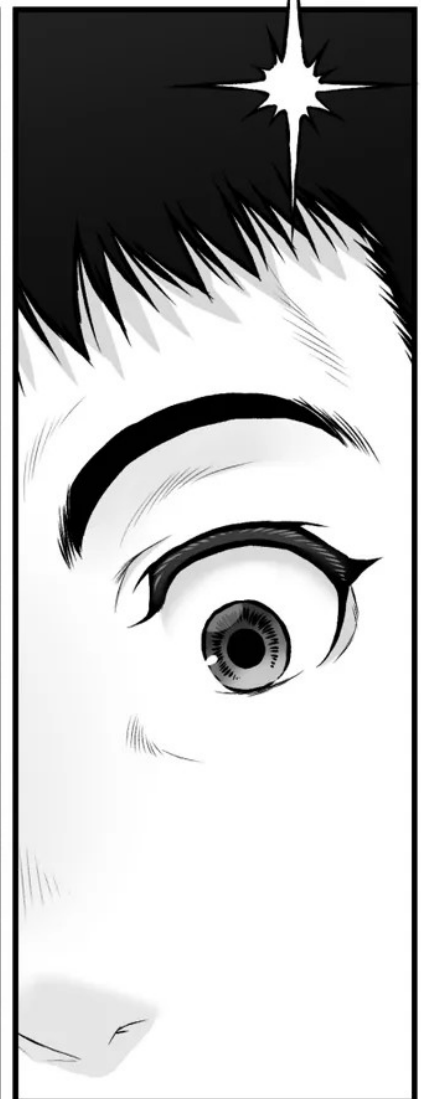
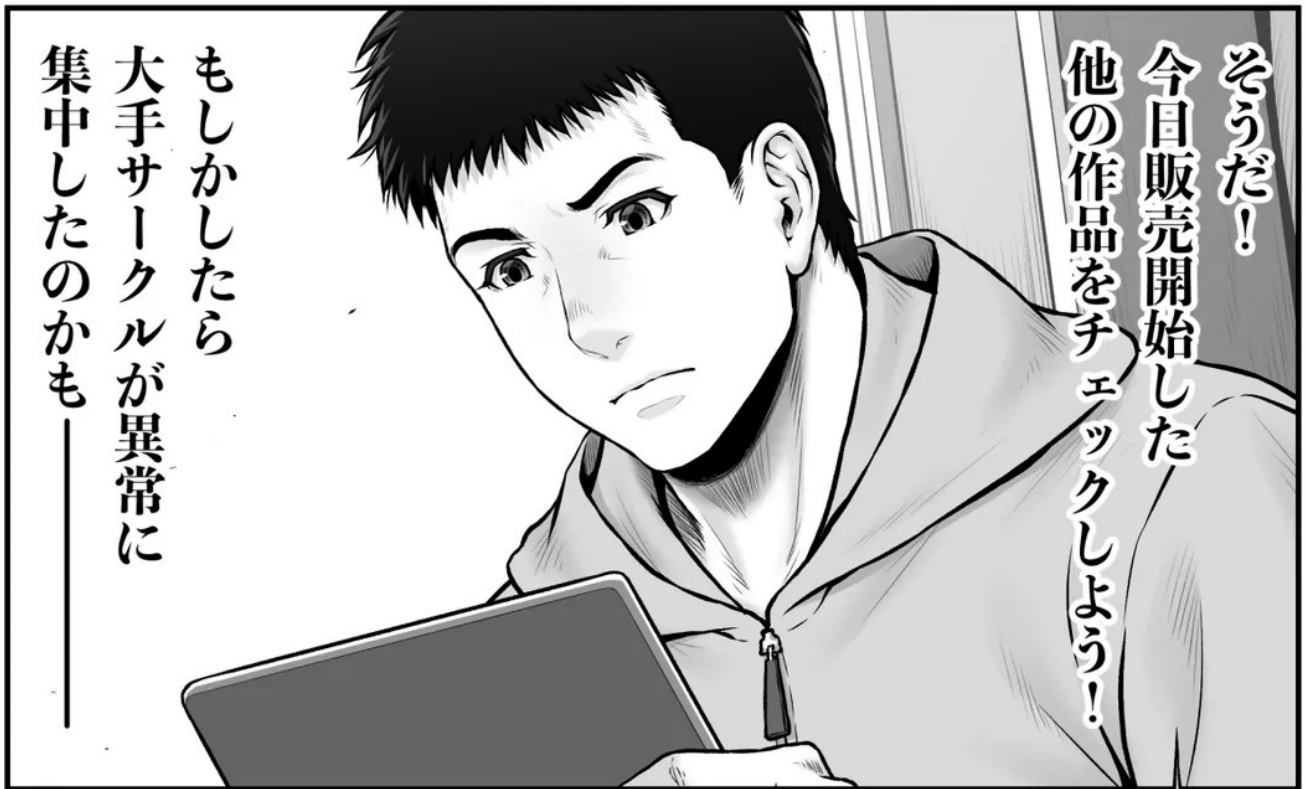
☆ お気に入り登録者数：356人

作品形式 : コミック

配信開始日 : 20xx/10/10 0:00

利用期限 : 無期限





『ぴゅら』さん

!!



ぴゅらさんの新作も
今日だったのか!
同じ純愛物…そりゃ
影響あるはずだ…

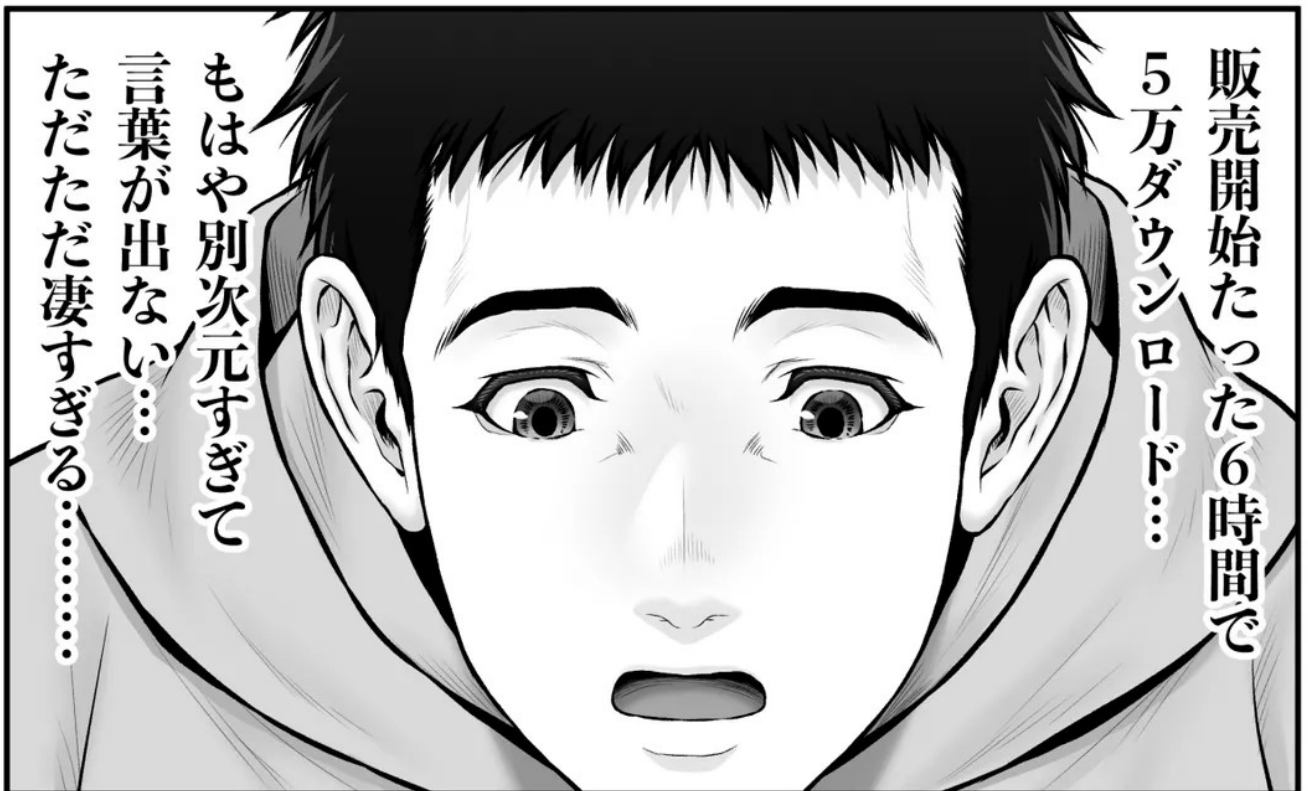


しかも…

FANSA 専売

1,980円

販売数: 50103
★★★★★ (256件)



販売開始たった6時間で
5万ダウンロード…

もはや別次元すぎて
言葉が出ない…
ただただ凄すぎる…

『契りヶ丘〜チギリガオカ〜』
いつものびゆらさんらしい
DL同人っぽくないシンプルな
タイトルだ

契りヶ丘

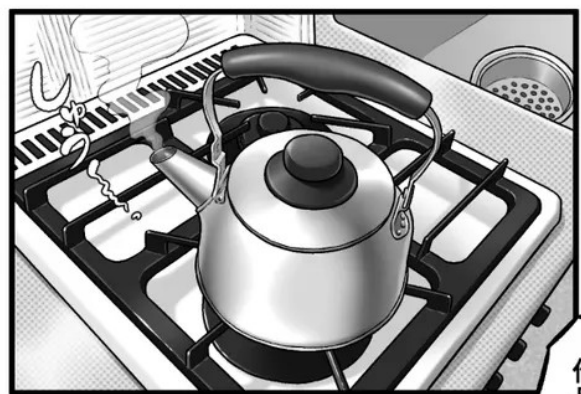
〜チギリガオカ〜

それなのにパッケージデザインも
キャラの裸はおるか絵そのものがない
逆の意味で攻めまくっている…

24時間: 1位 / 週間: 1位



♡ファンになる 183,999



今回もすごい
作品だった…



この人の作品を読むと『ファーストラヴ』を描いていた頃の自分をいつも思い出す…

俺にとっては奇跡の1作になってしまったけど…あの時の…あの感覚を取り戻すことができれば…

ぴゅらさんのいるステージに少しでも近づけるような気がするいやっ…近づくんだけ!

絶対に諦めな—



しまった!もう7時…

ゴミ捨て!

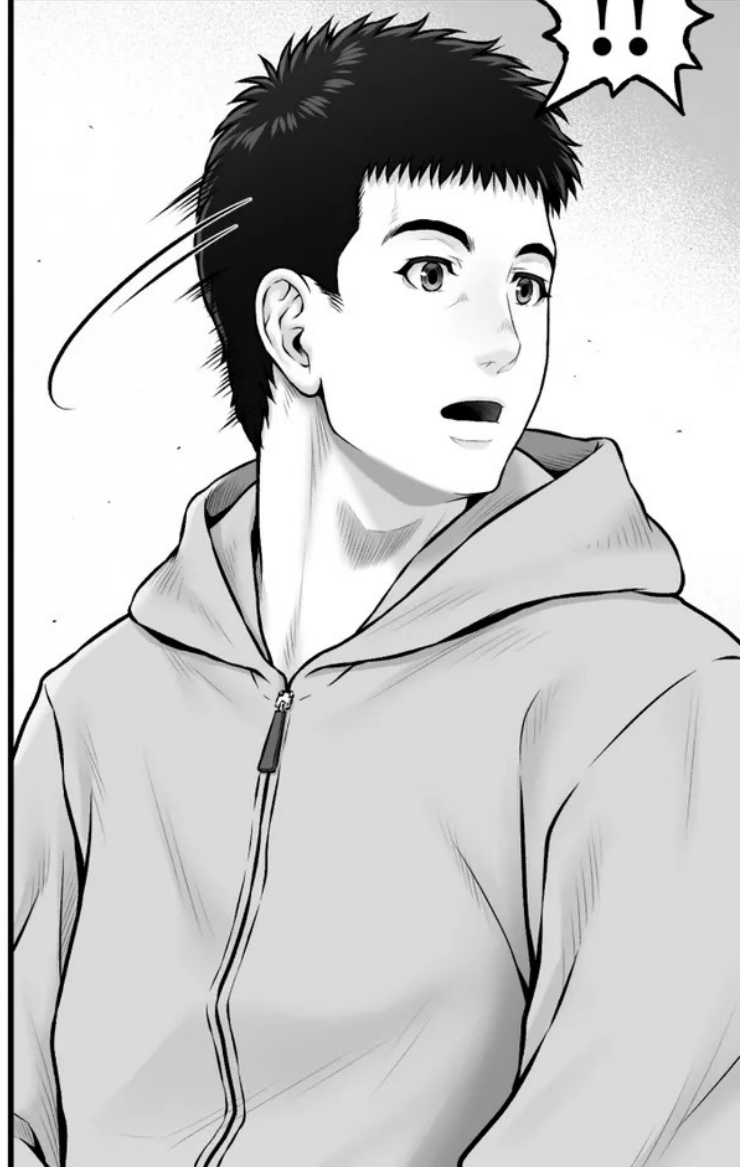
7:03
10月10日(金)



!!

くそっ!
いつもの悪い癖だ!
考え事をするとすぐ時間を忘れてしまう

ガキョッ









★拓の灰色同人生活は、もう少しだけ続く...

あとがき

小学2年の冬の朝、友達と一緒に登校していた時のことでした。

よそ見して走っていたら、急に目の前の景色が1回2回とぐるぐる回って、3メートルほどの高さがあるコンクリートの土手から川に落ち、気づいたら大の字になって空を見ていました。

水深は20センチ程度、ちょうどランドセルがクッション代わりにになってくれて、右手の擦り傷だけで済みました。

それでも体は冷水ですぶ濡れだったので家に引き返し、親に「川に落ちた。」と伝え、驚いて目をまん丸にしていました。

そこそそ長いこと人間やってますが、これが自分の人生の中で唯一『奇跡』と思える出来事です。

小学2年のチビだった自分が擦り傷だけで終わるとは思えない、正直よく無事だったなと今でも思います。

今回漫画を描きながら、『奇跡』とは…みたいな小難しいことをずっと考えてました。

果たしてこの内容で奇跡と呼べるのか？漫画なら普通じゃないか？そもそも奇跡ってなんだ？etc...

描き終えた今でもよくわかってないですが、結局のところ『それ』を奇跡と思うか思わないかは人によるのでは？という結論に至りました(今のところ)。

ということで、もし自分が拓の立場だったら『奇跡』だと思えることを素直に描くことにしました。

まあ世の中には「いやいや、俺の運命の人、普通に隣に住んでたよ。」なんていう人もいるかもしれないですが、少なくとも自分だったら奇跡だな～と思える内容にはしたつもりです。

流石に53万DLはやりすぎかなあと思わないでもなかったのですが、奇跡が『とても現実には起こり得ないくらい凄いこと』だというならば、中途半端に現実味を持たせず漫画として思い切り振り切ろうと思ひ、ゴミも掛けて53万という数字にしました。あとはまあ、この数字は漫画史上最も有名で最もパワフルな意味を持つ数字の一つだと思うので♪

長くなってきましたが、もう少しだけ。

今作『ゴミばな』は、過去作『しーちゃんとおじさん』、『八木尻遊郭勧誘譚すかうと』、『クレイジースイマー』と同じく八木尻が舞台になっています。ヒントはゴミ袋です。

なので、もしかしたら拓と美和の近くに有田くんがいたり、宗萌ちゃんがいたり、佐渡垣のおじさんがいたりするかもしれませんね♪

また、今作も他作品同様に神話要素を仕込んでおります。

あえてここでは書きませんが、気になる人は探したり調べたりして楽しんでくれると嬉しいです。

ちなみに本作ではサークル名=作家名という扱いにしています。

ではでは、そろそろこの辺で。

よかったらまた次の作品でお会いしましょう。

みしかるわーど

